2026年11月17日に一部修正しております

2026年12月期 第３四半期 決算説明資料

株式会社アシックス　2026年11月13日

sound mind, sound body

各種サービス　新規ご登録はこちらから

OneASICS会員

個人投資家向け
メール配信

ASICSアプリ
(iPhone)

ASICSアプリ
(Android)

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

INDEX

1. 決算サマリー等

2. 連結業績の概要

3. カテゴリー別連結経営成績

4. 地域別連結経営成績

5. 連結財政状態

6. IRカレンダー

Appendix

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

INDEX

1. 決算サマリー等

2. 連結業績の概要

3. カテゴリー別連結経営成績

4. 地域別連結経営成績

5. 連結財政状態

6. IRカレンダー

Appendix

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結損益計算書

（単位：億円）

第３四半期（1-9月）	FY25Q3 実績	FY26Q3 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	6,250	**8,051**	+1,801 +28.8%
売上総利益	3,531	**4,621**	+1,090 +30.9%
売上総利益率	56.5%	**57.4%**	+0.9ppt
販管費	2,255	**2,866**	+611 +27.1%
販管費率	36.1%	**35.6%**	△0.5ppt
人件費	683	**812**	+129 +18.8%
広告宣伝費	425	**556**	+131 +30.6%
広告宣伝費率	6.8%	**6.9%**	+0.1ppt
賃借料	113	**126**	+13 +11.6%
減価償却費	174	**238**	+64 +36.1%
その他経費	860	**1,134**	+274 +31.9%
営業利益	1,276	**1,755**	+479 +37.5%
営業利益率	20.4%	**21.8%**	+1.4ppt
経常利益	1,245	**1,691**	+446 +35.8%
特別損益	20	**△108**	△128
親会社株主に帰属する四半期純利益	863	**1,147**	+284 +32.9%

	FY25Q3 実績	FY26Q3 実績	増減額	増減率
海外売上高	5,063	6,573	+1,510	+29.8%
海外比率	81.0%	81.6%	-	+0.6ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+1,202	+19.2%
	連結営業利益増減	+359	+28.2%
	連結純利益増減	+181	+21.1%

平均為替レート（円）	FY25Q3 実績	FY26Q3 実績
1ドル	148.76	158.47
1ユーロ	165.49	183.92
1人民元	20.61	23.20

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年12月期 第３四半期 連結決算サマリー（１）

連結：全カテゴリー、全地域で増収（前年同期比+28.8%). 増収に加え販売価格の適正化による粗利益率の改善もあり、営業利益も増益.
営業利益（前年同期比+37.5%）、四半期純利益（前年同期比+32.9%）ともに過去最高.

- 売上高：8,051億円（前年同期比：+28.8%、為替影響除く：+19.2%）
- 粗利益率：57.4%（前年同期比：+0.9ppt）
- 営業利益：1,755億円（前年同期比：+37.5%）/　営業利益率：21.8%（前年同期比：+1.4ppt）
- 四半期純利益：1,147億円（前年同期比：+32.9%）

カテゴリー業績：全カテゴリーで増収増益. 特に、スポーツスタイルは70%の大幅増収.

- パフォーマンスランニング：全地域で増収. 特に、欧州、東南・南アジアで増収.　営業利益は、主に北米、欧州で増益.
  売上高：前年同期比+15.8%（為替影響除く+6.0%）、カテゴリー利益率：25.6%（前年同期比+0.1ppt）
- スポーツスタイル　：全地域で増収増益. 特に、北米、欧州、オセアニアで増収.
  売上高：前年同期比+70.0%（為替影響除く+55.2%）、カテゴリー利益率： 33.4%（前年同期比+2.8ppt）
- オニツカタイガー　：全地域で増収増益. 特に、インバウンド需要の強い日本に加えて、欧州で大幅増収.
  売上高：前年同期比+34.6%（為替影響除く+28.4%）、カテゴリー利益率：39.4%（前年同期比+0.0ppt）

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年12月期 第３四半期 連結決算サマリー（２）

地域業績： 全地域において増収増益を達成、営業利益率では特にアシックスジャパン、北米、欧州で向上.

- アシックスジャパン：オニツカタイガーのインバウンド好調継続により粗利益率が良化し営業利益率が更に向上.
  インバウンド売上高は462億円となり、前年同期の328億円から大幅増収.
  売上高：前年同期比+24.2%、営業利益率：33.0%（前年同期比 +3.0ppt）
- 北米 ：特にスポーツスタイルでの大幅な増収及び粗利益率の良化もあり営業利益率が大幅に向上.
  売上高：前年同期比+25.5% （為替影響除く+17.0%） 、営業利益率：19.0%（前年同期比 +4.8ppt）
- 欧州 ：特にスポーツスタイル、オニツカタイガーでの大幅な増収及び販管費のコントロールにより営業利益率は上昇.
  売上高：前年同期比+37.3%（為替影響除く+24.2%）、営業利益率：20.1%（前年同期比+1.3ppt）

在庫管理：継続的な在庫管理強化により棚卸資産は前期末比208億円減少（為替影響を除くと212億円減少）.

株主還元：9月9日に、過去最大の700億円を上限とする自己株式取得を公表.

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年12月期 連結業績予想

- 2026年8月14日に公表した連結業績予想に対し、足元の業績は順調に推移.

（単位：億円）	FY25 実績	FY26 予想	FY25比 増減率
売上高	8,109	**10,500**	+29.5%
営業利益	1,425	**1,950**	+36.8%
営業利益率	17.6%	**18.6%**	+1.0ppt
経常利益	1,392	**1,890**	+35.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	987	**1,200**	+21.6%

配当金	中間	期末	通期
2025年12月期	12.0円	16.0円	28.0円
2026年12月期	20.0円	24.0円	44.0円

為替レート	USD	EUR	RMB
2025年12月期	150.32	169.09	20.93
2026年12月期	160.00	180.00	23.00

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

愛知・名古屋2026

- パラ競技を含めアシックス契約選手が86個のメダルを獲得.
- 女子マラソン、テニス （ミックスダブルス）等において、アシックス契約選手が金メダルを獲得.
- マラソン男子、トライアスロン及びテニス男女においてシェアNo.1を獲得し、ブランドの存在感を示す.

アシックス契約選手の活躍



Shitaye Eshete
(シタイエ・エシェテ)
女子マラソン 1位



柴原 瑛菜
テニス ミックスダブルス 1位



鳥海 連志
男子車いすバスケットボール 1位



Gulveer Singh
(グルヴィール・シン)
男子10,000m 2位,
男子5,000m 3位,
男子1,500m 2位

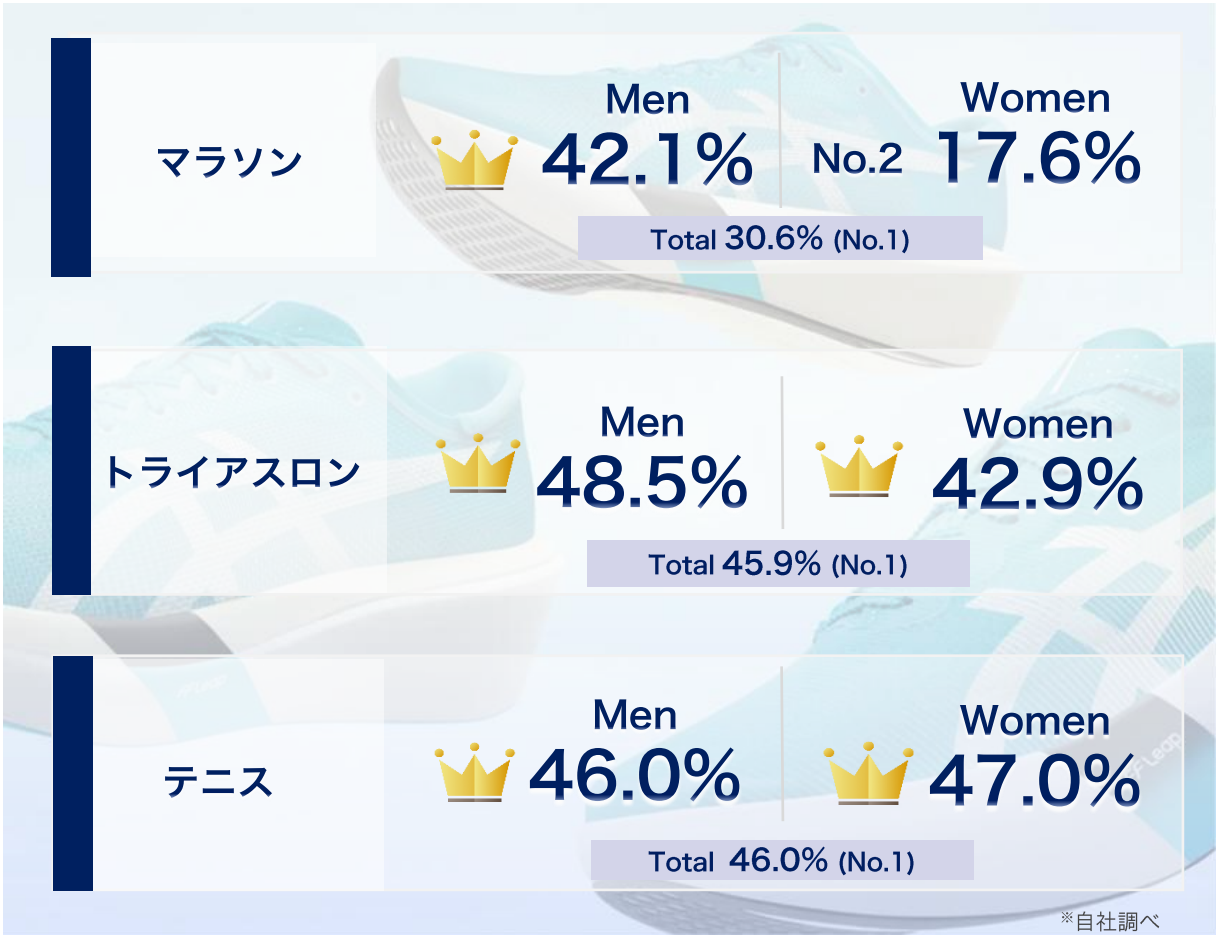


Sivasangari Subramaniam
(シヴァサンガリ・サブラマニアン)
スカッシュ 女子シングルス 1位,
スカッシュ 女子チーム 1位



田巻 佑真
(社員パラアスリート)
男子/T64
男子200m 3位, 男子走幅跳 3位

アシックスのシェア



© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

世界の主要大会における契約選手の活躍、大会シェア

- マラソン、トレイルランニング、トライアスロンの国際主要大会でアシックス契約選手が優勝！
- ゴールドコースト、シドニー、クアラルンプールはシェアアップしつつNo.1を維持、ベルリンとシカゴのシェアは昨年よりアップ.

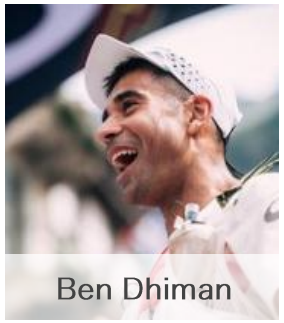
主要大会における契約選手の活躍

ゴールドコーストマラソン（オーストラリア）	
Men	1位：Haftu Strintzos ハフトゥ・ストリンツォス｜オーストラリア
Women	1位：Almaz Kebebe アルマズ・ケベベ｜エチオピア 2位：Antonina Kwambai アントニナ・クワンバイ｜ケニア 3位：川村楓 日本



Haftu Strintzos

2026 UTMB®レース（フランス）	
Men	-UTMB(174km) 1位：Ben Dhiman ベン・ディマン｜アメリカ 4位：Virgile Moriset ヴィルジル・モリゼ｜フランス -OCC(50km) 3位：Miguel Benitez ミゲル・ベニテス｜スペイン
Women	-OCC(50km) 3位：Sara Alonso サラ・アロンソ｜スペイン

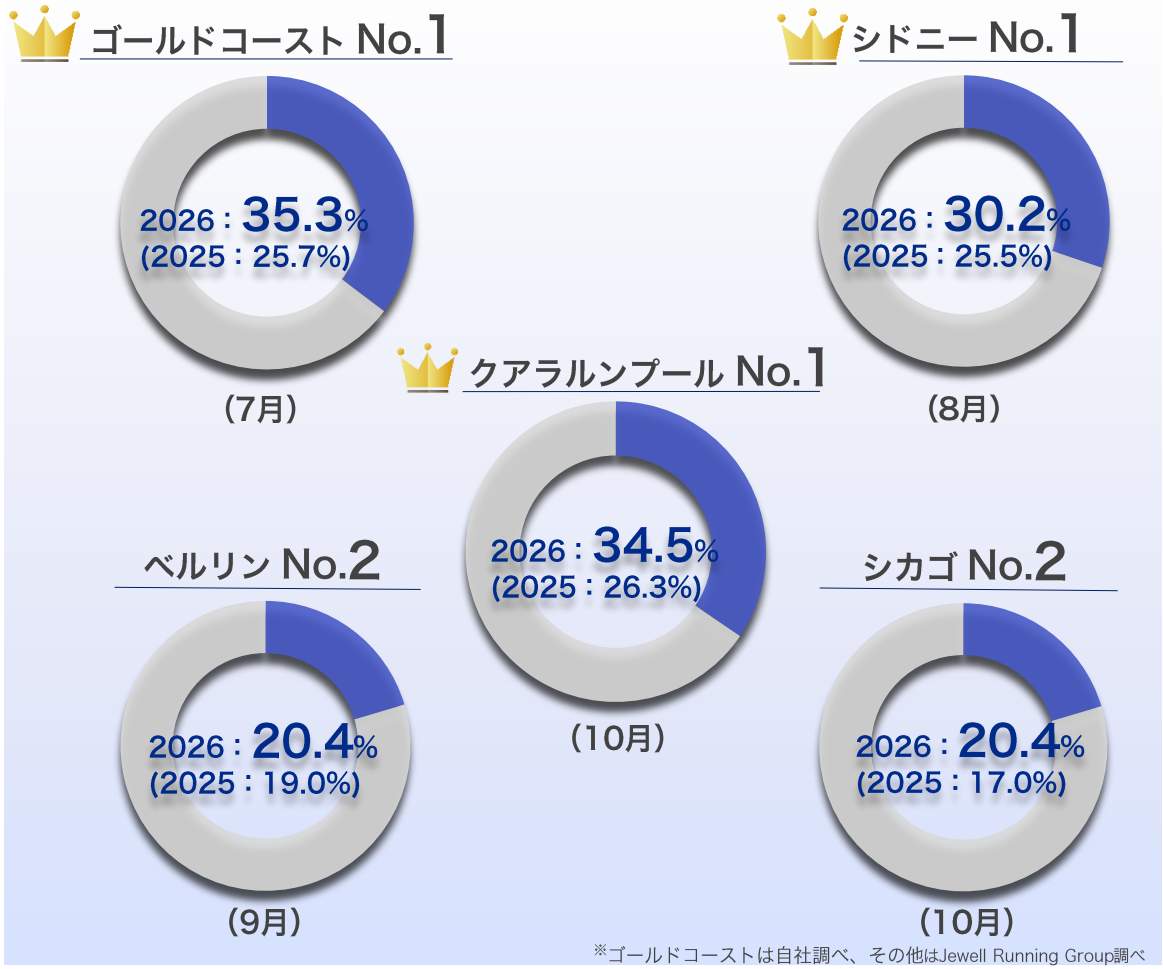

Ben Dhiman

ワールドトライアスロン世界選手権（スペイン）	
Men	1位：Matthew Hauser マシュー・ハウザー｜オーストラリア 2位：Vasco Vilaca バスコ・ヴィラサ｜ポルトガル



Matthew Hauser
Vasco Vilaca

マラソン大会着用シェア



※ゴールドコーストは自社調べ、その他はJewell Running Group調べ

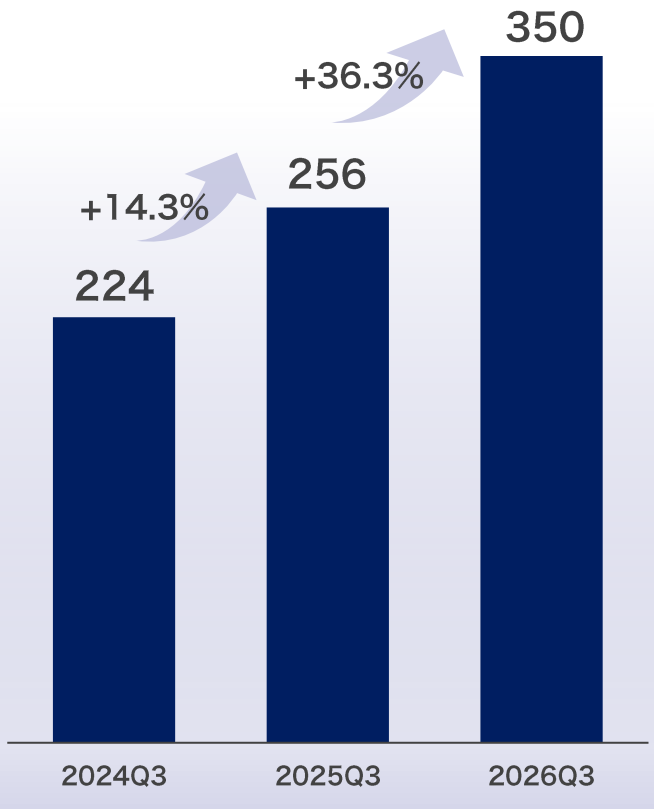
© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

テニス（T-PROJECT、CPS）

- 欧州・米国だけではなく、東南アジアや中国が成長を牽引. ピックルボールはベトナムで約5倍に大きく伸長.
- 英国・米国で開催された大会では男子シングルスでシェアNo.1を維持.
- ピックルボールコートの運営を通じて、都心で運動機会の少ない方々にもスポーツを楽しめる環境を提供するなど、日本での取組みを強化.

売上高（テニス・パデル・ピックルボール）

単位：億円



主要大会着用シェア

英国 6月29日ー7月13日

男子シングルス	女子シングルス
No.1 23%	No.3 14%

米国 8月30日ー9月13日

男子シングルス	女子シングルス
No.1 27%	No.2 15%

※自社調べ

【契約選手着用シューズ】

GEL-RESOLUTION X

安定性と快適性に優れたモデル.
最も売上規模の大きい主力商品.



SOLUTION SPEED FF 4

スピードと素早い動きを追求したモデル.
2026年Q3の売上高は前年同期比+45%.



【BEST8以上の契約選手】


Taylor Fritz
(テイラー・フリッツ)


Jasmine Paolini
(ジャスミン・パオリーニ)


Arthur Fery
(アーサー・フェリー)


Emma Navarro
(エマ・ナバーロ)

日本における直近のトピックス

1 錦織圭氏とアドバイザリースタッフ契約を締結

錦織氏が長年の競技生活で培った
経験や知見を活かし、次世代プレーヤーの
育成やテニス界のさらなる発展に貢献する
取組みを実施予定.



2 ジャパンオープン

ロレンツォ・ムゼッティ選手
とのコラボレーションを通じた
ブランドアクティベーションを
実施.





3 ASICS PICKLEBALL CONNECT オープン

2026年10月31日
から12月27日までの
２カ月間、東京・丸の内
にて都市型ピックルボール
コートを期間限定でオープン.



© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

デジタルに関する取組み

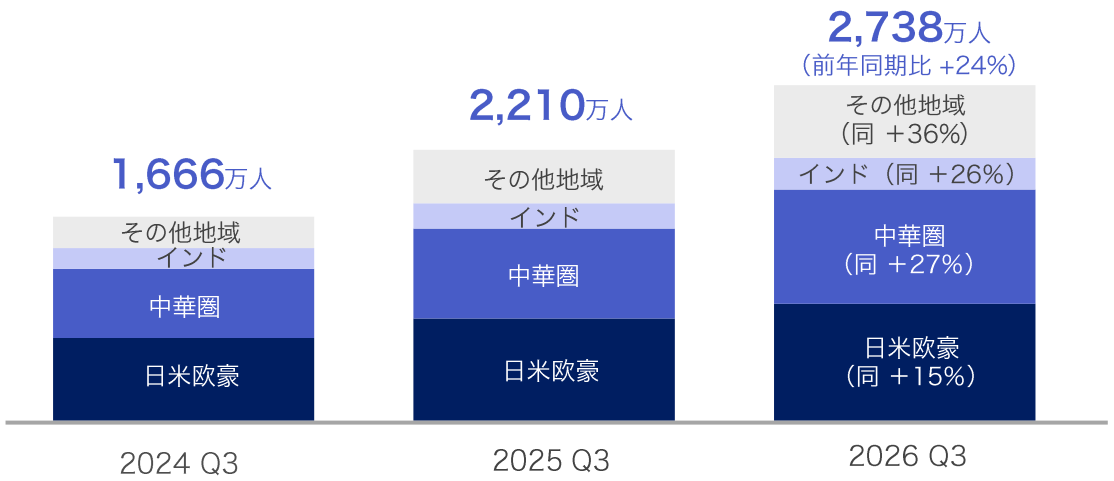
- シドニーマラソンでは、レース前からレース後までOneASICS会員に寄り添う体験を提供し、ランナーとのつながりを強化.
- このモデルを標準フレームワークとし、東京やパリなどの主要大会へ導入済み. 今後も、地域やレースの特性に応じた柔軟な展開を通じ、更なる拡大を図る.

EC売上高の推移

	2024年Q3	2025年Q3	2026年Q3	25Q3 vs 26Q3
EC 売上高	1,010億円	1,105億円	1,388億円	+25.5%※

※戦略的な絞り込みを行っている北米を除くと+34.7%

OneASICS会員数推移



シドニーマラソンでの取組みの進化とOneASICS会員売上の拡大

- 今年はランナーに応じた情報配信を強化し、落選者やミニマラソン参加者にも対象を拡大.
- 購買ユーザー数は前年の3倍超、一人あたりの購買金額はオセアニアのOneASICS会員全体の平均を約30%上回る水準.
- さらにExpoでは、OneASICS会員登録・購買の導線を整備. Expoでの会員売上は過去最高を記録. DTCとExpoを合わせた会員売上は前年比185%増.



シドニーマラソンExpoにおける購入の様子



レース後のOneASICS会員向け
リカバリーゾーンの様子

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

INDEX

1. 決算サマリー等

2. 連結業績の概要

3. カテゴリー別連結経営成績

4. 地域別連結経営成績

5. 連結財政状態

6. IRカレンダー

Appendix

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結損益計算書

再掲

（単位：億円）

第３四半期（1-9月）	FY25Q3 実績	FY26Q3 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	6,250	**8,051**	+1,801 +28.8%
売上総利益	3,531	**4,621**	+1,090 +30.9%
売上総利益率	56.5%	**57.4%**	+0.9ppt
販管費	2,255	**2,866**	+611 +27.1%
販管費率	36.1%	**35.6%**	△0.5ppt
人件費	683	**812**	+129 +18.8%
広告宣伝費	425	**556**	+131 +30.6%
広告宣伝費率	6.8%	**6.9%**	+0.1ppt
賃借料	113	**126**	+13 +11.6%
減価償却費	174	**238**	+64 +36.1%
その他経費	860	**1,134**	+274 +31.9%
営業利益	1,276	**1,755**	+479 +37.5%
営業利益率	20.4%	**21.8%**	+1.4ppt
経常利益	1,245	**1,691**	+446 +35.8%
特別損益	20	**△108**	△128
親会社株主に帰属する四半期純利益	863	**1,147**	+284 +32.9%

	FY25Q3 実績	FY26Q3 実績	増減額	増減率
海外売上高	5,063	6,573	+1,510	+29.8%
海外比率	81.0%	81.6%	-	+0.6ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+1,202	+19.2%
	連結営業利益増減	+359	+28.2%
	連結純利益増減	+181	+21.1%

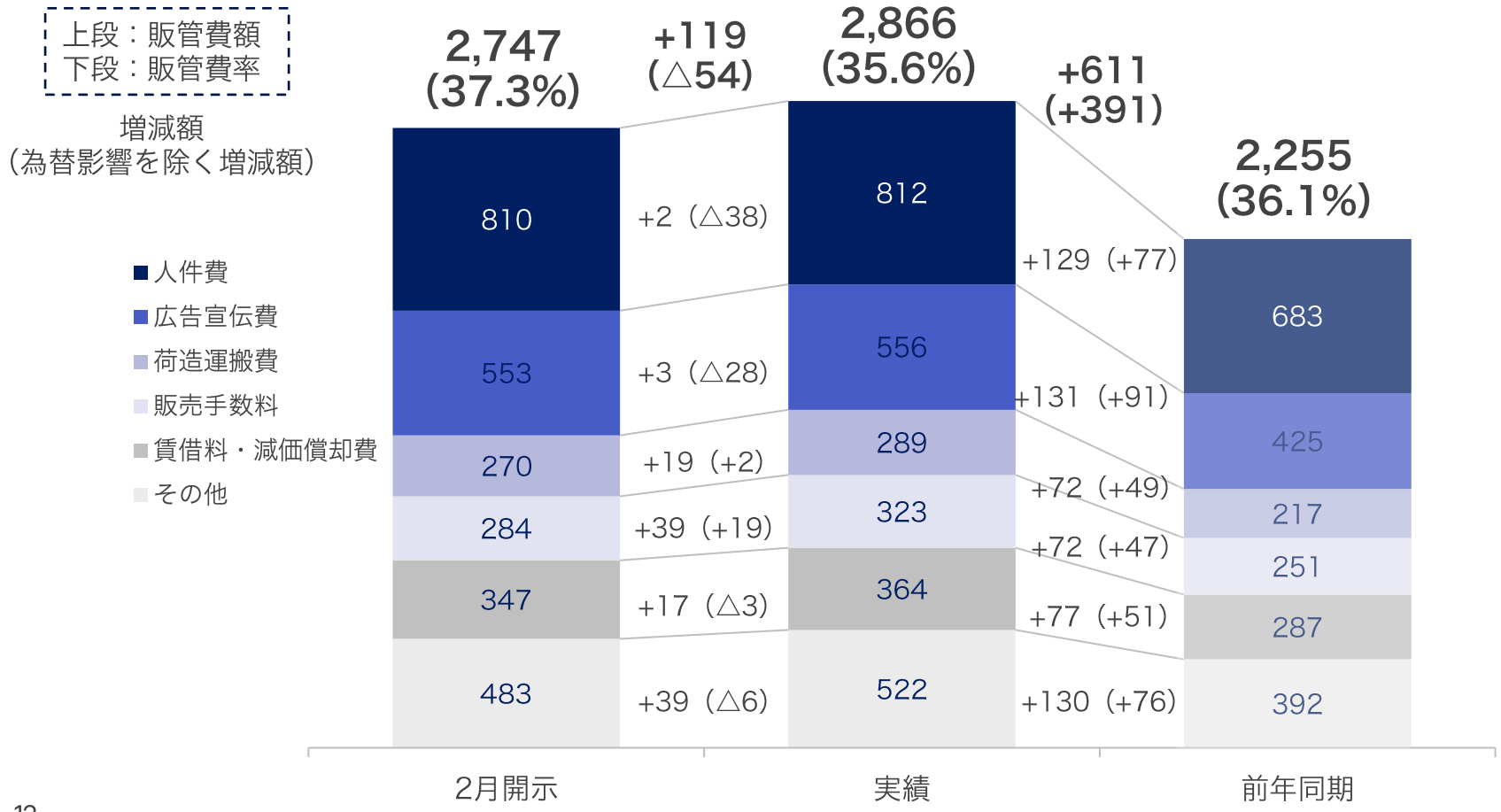
平均為替レート（円）	FY25Q3 実績	FY26Q3 実績
1ドル	148.76	158.47
1ユーロ	165.49	183.92
1人民元	20.61	23.20

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

販管費の状況

- 2月開示比は、増収に加え、主に広告宣伝費における施策実行時期の調整等もあり、売上高販管費率は1.7ppt低下.
- 前年同期比は、為替影響（+220億円）を除いて391億円の増加．販管費率は0.5ppt低下の35.6% .
- 販管費増加の主要因はプロフィットシェアなどの人的資本投資の強化による人件費、欧州の好調な事業モメンタム維持や中華圏でのマラソンイベント・EC集客関連の広告宣伝費、新規出店に伴う減価償却費及び売上連動コストの増加.

（単位：億円）



平均為替レート（円）	FY26Q2 2月開示	FY26Q3 実績	FY25Q3 実績
1ドル	150.00	158.47	148.76
1ユーロ	170.00	183.92	165.49
1人民元	21.00	23.20	20.61

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結損益計算書（３ヶ月期間）

（単位：億円）

第３四半期（7-9月）	FY25Q3 実績	FY26Q3 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	2,223	**2,707**	+484 +21.8%
売上総利益	1,247	**1,559**	+312 +25.0%
売上総利益率	56.1%	**57.6%**	+1.5ppt
販管費	782	**1,008**	+226 +28.9%
販管費率	35.2%	**37.3%**	+2.1ppt
人件費	243	**280**	+37 +14.9%
広告宣伝費	147	**195**	+48 +31.8%
広告宣伝費率	6.6%	**7.2%**	+0.6ppt
賃借料	47	**53**	+6 +13.3%
減価償却費	64	**83**	+19 +27.4%
その他経費	281	**397**	+116 +41.3%
営業利益	465	**551**	+86 +18.4%
営業利益率	20.9%	**20.3%**	△0.6ppt
経常利益	459	**526**	+67 +14.5%
特別損益	△1	**△59**	△58
親会社株主に帰属する四半期純利益	327	**326**	△1 △0.4%

	FY25Q3 実績	FY26Q3 実績	増減額	増減率
海外売上高	1,807	2,185	+378	+21.0%
海外比率	81.3%	80.7%	-	△0.6ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+317	+14.3%
	連結営業利益増減	+53	+11.5%
	連結純利益増減	△26	△7.8%

四半期推移	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	2,702	2,642	2,707	
営業利益	607	597	551	
営業利益率	22.5%	22.6%	20.3%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	465	356	326	

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

INDEX

1. 決算サマリー等

2. 連結業績の概要

3. カテゴリー別連結経営成績

4. 地域別連結経営成績

5. 連結財政状態

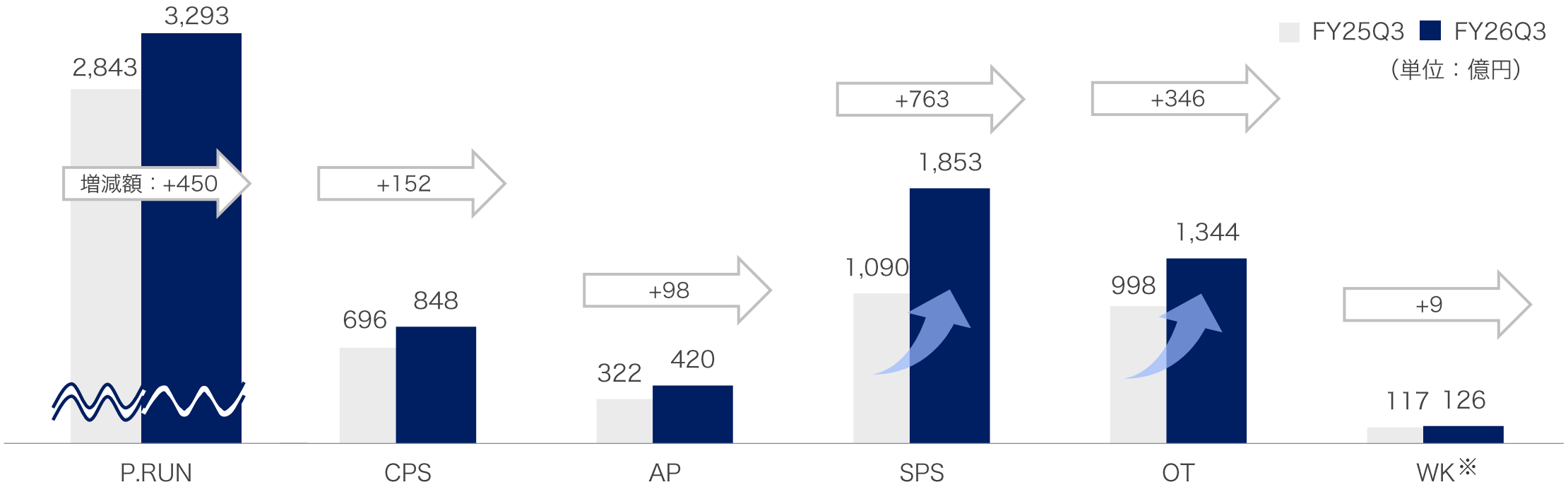
6. IRカレンダー

Appendix

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

カテゴリー別連結売上高

- P.RUNは全地域で増収．特に、北米、欧州、中華圏におけるWSチャネルが好調により大幅増収．
- SPSは全地域で増収．特に、北米、欧州、豪州におけるWSチャネルが80%超の大幅増収．
- OTは全地域で増収．特に、インバウンド需要の強い日本に加えて欧州において大幅増収．



	P.RUN	CPS	AP	SPS	OT	WK※
増減率	+15.8%	+21.9%	+30.4%	+70.0%	+34.6%	+8.2%
為替影響を除く	+6.0%	+13.5%	+20.3%	+55.2%	+28.4%	+8.2%

※2026年よりウォーキング（WK）を開示．

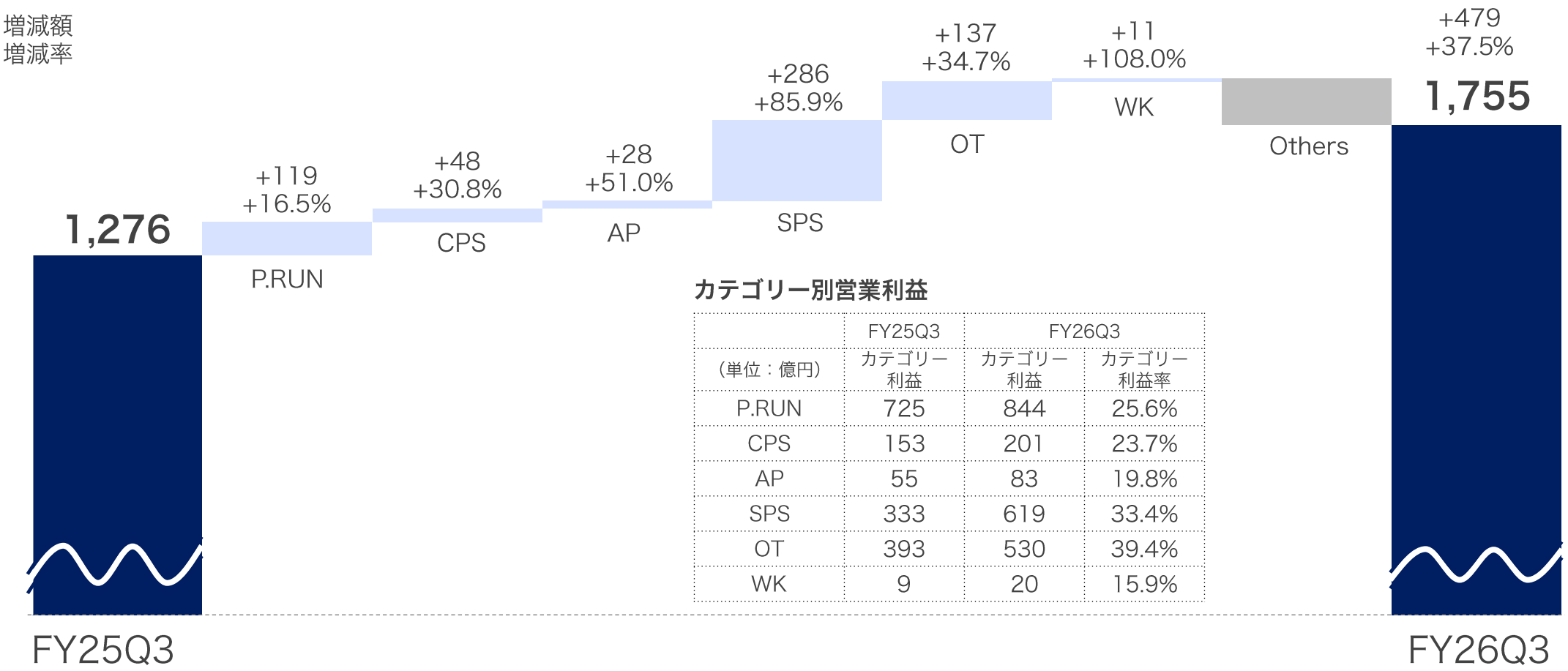
© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結営業利益内訳（カテゴリー別）

- 全カテゴリーで増益. 特に、P.RUN、SPS、OTで大幅増益.
- カテゴリー利益率は、全カテゴリーで良化. 粗利益率の良化に加えて、引き続き販管費のコントロールを継続.

（単位：億円）

上段：増減額
下段：増減率



カテゴリー別営業利益

（単位：億円）	FY25Q3	FY26Q3	
	カテゴリー利益	カテゴリー利益	カテゴリー利益率
P.RUN	725	844	25.6%
CPS	153	201	23.7%
AP	55	83	19.8%
SPS	333	619	33.4%
OT	393	530	39.4%
WK	9	20	15.9%

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

カテゴリー外コスト及びカテゴリー別損益

- カテゴリー外コストは、主に人件費及び減価償却費等で増加するも、前年同期比+27.1%と増収率の範囲内でコントロール.

（単位：億円）

	P.RUN	CPS	AP	SPS	OT	WK	Others	Total
売上高	3,293 (+450)	848 (+152)	420 (+98)	1,853 (+763)	1,344 (+346)	126 (+9)	167 (△17)	8,051 (+1,801)
カテゴリー利益	844 (+119)	201 (+48)	83 (+28)	619 (+286)	530 (+137)	20 (+11)		
カテゴリー外コスト								448 (+96)
連結営業利益								1,755 (+479)

（ ）内は前年同期比

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

パフォーマンスランニング（P.RUN）

（単位：億円）

第３四半期（1-9月）	FY25Q3	FY26Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	2,843	3,293	+450	+15.8%
為替影響除く		3,013	+170	+6.0%
カテゴリー利益	725	844	+119	+16.5%
カテゴリー利益率	25.5%	25.6%	-	+0.1ppt

3ヶ月期間（7-9月）	FY25Q3	FY26Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	993	1,086	+93	+9.4%
為替影響除く		1,011	+18	+1.8%
カテゴリー利益	259	263	+4	+1.5%
カテゴリー利益率	26.2%	24.3%	-	△1.9ppt

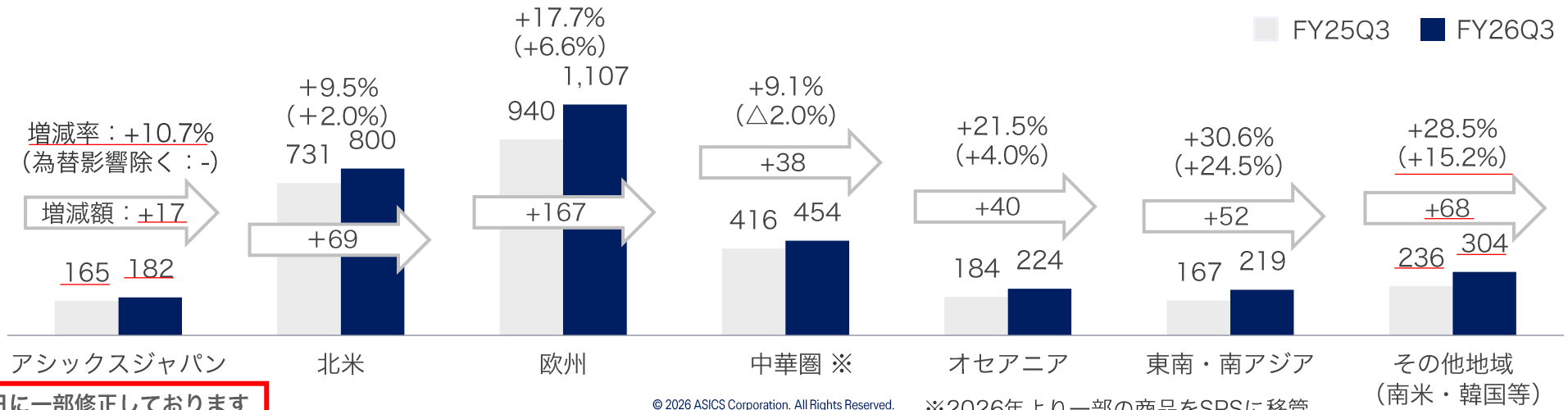


GEL-KAYANO 33

サポート性と快適性を追求し、安定感のある自然な走りに寄り添うモデル.

ポイント

- 売上高は、BOUNCEモデルが引き続き成長を牽引し、前年同期比+15.8%の増収.
- 第３四半期３カ月期間の売上高は、全地域で増収、特にインバウンド需要が好調に推移した日本、タイ・インドでの新規出店やEC強化が成長を牽引した東南・南アジアで増収.
- 粗利益率は、高付加価値商品へのフォーカスにより前年同期比+0.6pptの54.2%.
- マラソン大会等のマーケティング活動により販管費が増加するも、カテゴリー利益率は前年同期比＋0.1pptの25.6%。
- ８月発売のMETAFUJI TRAIL 2を当社契約選手が着用し、世界的トレイルランニング大会で優勝.
- ８月発売のGT-2000 15は前作を大きく上回る大幅成長.



※2026年より一部の商品をSPSに移管.

2026年11月17日に一部修正しております

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

パフォーマンスランニング（P.RUN） プロダクトポートフォリオ

- 日々のジョギングからフルマラソンまで、用途・走力・走法に合わせた細かいラインナップで構成.
- 豊富な足型データに基づく機能性が強み. トップアスリートから市民ランナーまで幅広くカバー.
- 高付加価値商品へのシフトを進め、プレミアムブランドとしてのポジショニングを強化.

STABILITY	CUSHION	BOUNCE	SPEED	TRAIL
安定感のあるサポート	やわらかなクッション性	沈んで弾む反発性	スピード重視の設計	強力なグリップ性
				
GEL-KAYANO 33	GEL-SLOWCUSH	MEGABLAST	METASPEED RAY	METAFUJI TRAIL 2
				
GT-2000 15	GEL-NIMBUS 28	SUPERBLAST 3	METASPEED TOKYO	TRABUCO MAX 5
				
	GEL-CUMULUS 28	SONICBLAST 2	YOGIRI SPEED	
				
GT-1000 15	GEL-PULSE 17	NOVABLAST 6	MAGIC SPEED 5	TRABUCO 14

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

コアパフォーマンススポーツ（CPS）

（単位：億円）

第３四半期（1-9月）	FY25Q3	FY26Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	696	848	+152	+21.9%
為替影響除く		790	+94	+13.5%
カテゴリー利益	153	201	+48	+30.8%
カテゴリー利益率	22.1%	23.7%	-	+1.6ppt

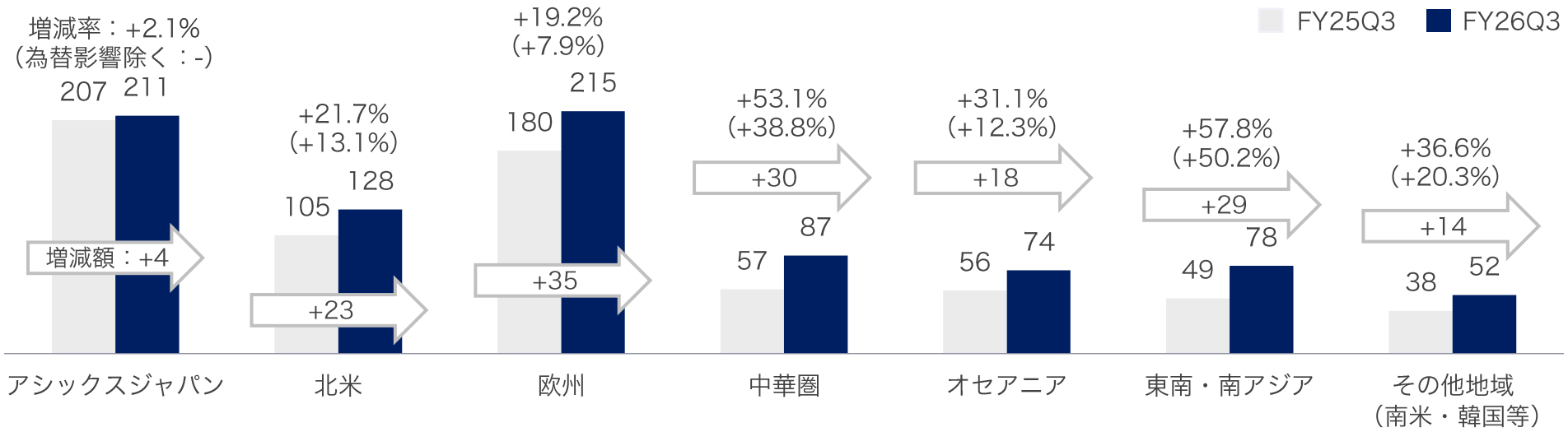
3ヶ月期間（7-9月）	FY25Q3	FY26Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	255	297	+42	+16.7%
為替影響除く		281	+26	+10.2%
カテゴリー利益	60	70	+10	+16.2%
カテゴリー利益率	23.6%	23.5%	-	△0.1ppt



SOLUTION SPEED FF 4（テニスシューズ）
スピードとクイックネスの融合
さらに高次元のスピードモデル

ポイント

- 売上高は、テニス及びインドアスポーツの伸長により全ての地域で増収.
  特に中華圏、東南・南アジアで50%以上の高成長を達成.
- 第３四半期３カ月期間の売上高は、主に中華圏、北米、東南・南アジアで増収.
- 粗利益率は、北米及び欧州のインドアスポーツにおける高価格帯商品（SKY ELITEシリーズ）の販売増等により、前年同期比+1.9pptの49.2%.
- カテゴリー利益は、特に北米、欧州、中華圏、東南・南アジアで増益.
- 国内にて 「ASICS PICKLEBALL CONNECT」をオープン. テニスに加えピックルボール領域においても、顧客接点の強化・体験価値の向上を通じてブランド価値の浸透と事業機会の創出を推進.



© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

アパレル（AP）

（単位：億円）

第３四半期（1-9月）	FY25Q3	FY26Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	322	420	+98	+30.4%
為替影響除く		387	+65	+20.3%
カテゴリー利益	55	83	+28	+51.0%
カテゴリー利益率	17.1%	19.8%	-	+2.7ppt

3ヶ月期間（7-9月）	FY25Q3	FY26Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	122	164	+42	+34.1%
為替影響除く		153	+31	+25.4%
カテゴリー利益	25	41	+16	+64.4%
カテゴリー利益率	20.0%	24.5%	-	+4.5ppt

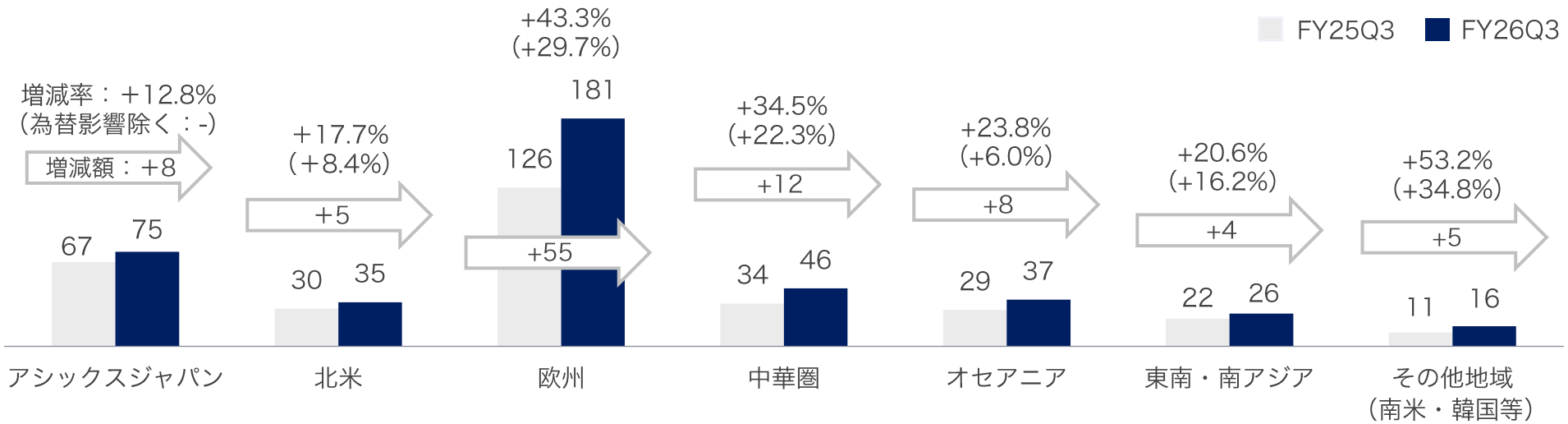


LIMITED SERIES

日本の自然や伝統的な表現から着想を得たデザインに、
ACTIBREEZEなどの高機能テクノロジーを融合．季節や環境の
変化に適応しながら冬のランニングを快適にサポート．

ポイント

- 売上高は、ランニング商品が好調な欧州に加え、中華圏、日本、オセアニアでも増収し、カテゴリー全体で前年同期比+30.4%の増収．
- 第３四半期３カ月期間の売上高は、主に欧州、日本及びオセアニアで大幅成長．
- 粗利益率は、販売価格の適正化や高付加価値商品への注力などにより、前年同期比+0.5pptの55.1%．
- カテゴリー利益は、好調な欧州が牽引したことに加え、販管費率の改善も寄与し大幅増益．
- 日本由来の独自性あるデザインと高い機能性を活かした商品展開を通じ、ランニングアパレルにおけるブランドプレゼンスの向上を図る．



© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

スポーツスタイル（SPS）

（単位：億円）

第３四半期（1-9月）	FY25Q3	FY26Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	1,090	1,853	+763	+70.0%
為替影響除く		1,692	+602	+55.2%
カテゴリー利益	333	619	+286	+85.9%
カテゴリー利益率	30.6%	33.4%	-	+2.8ppt

3ヶ月期間（7-9月）	FY25Q3	FY26Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	417	622	+205	+49.0%
為替影響除く		578	+161	+38.5%
カテゴリー利益	127	200	+73	+58.1%
カテゴリー利益率	30.4%	32.2%	-	+1.8ppt

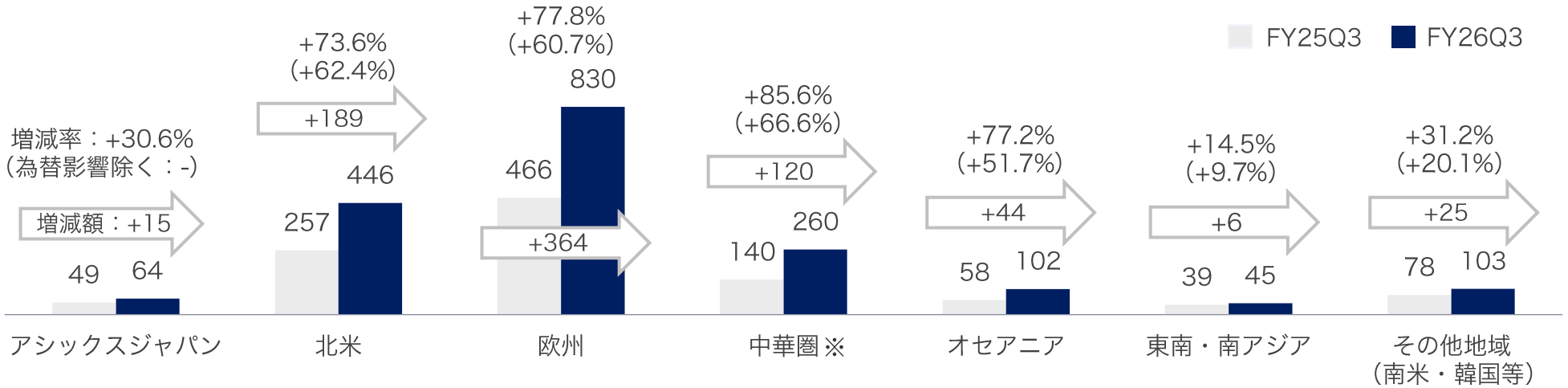


GEL-DS TRAINER LOOP

多様な身体特性を持つ方々の声を反映し、誰もが快適に着脱できる、指一本で操作可能なインクルーシブデザインを実現.

ポイント

- 売上高は、GEL-1130、GEL-NYC及びGEL-KAYANO 14等の主力商品の好調に加え、GEL-CUMULUS 16やGEL-NYC 2.0等の成長ドライバーの順調な立ち上がりにより、大幅成長.
- 第３四半期３カ月期間の売上高は欧州、北米及びオセアニアで大幅成長.
- 粗利益率は販売価格の適正化影響もあり、前年同期比+2.0pptの52.6%.
- カテゴリー利益は粗利益率の改善に加え、販管費率の改善も寄与し増益.
- 北米・欧州のWSを中心としたKIDSビジネスの拡大に加え、女性向け施策を継続的に展開し、顧客層の拡大を加速.



※2026年より一部の商品をP.RUNから移管.

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

スポーツスタイル（SPS） プロダクトポートフォリオ

- 複数の商品群を持つことで、トレンドサイクルの早いスニーカー市場における柔軟な機会創出とリスクに対応.
- プレミアムな方向へシフトし、 $100以上の商品を中心にプロダクトポートフォリオを構成.
- アパレルコレクションを活用したスタイリング提案やコラボレーションによる商品訴求・新顧客の取り込みを実施しながら、SS27も引き続き多様な新商品を投入.

VISIBLE TECH

テクノロジーとスタイルの融合



GEL-KINETIC 2.0



GEL-QUANTUM 360 I AMP

MODERN

アーカイブの再構築



GEL-NYC 2.0



GEL-TRANSCEND FJ

VINTAGE TECH

2000年代アーカイブ



GEL-KAYANO 14



HYPERSYNC

CLASSICS

90年代アーカイブ



LYTE CLASSIC



SKYHAND OG

SPS APPAREL

SPS世界観の創出



AW26 INLINE COLLECTION

SKATEBOARDING

スケートボードに向き合った
テクノロジーとスタイル



JAPAN PRO



LEGGEREZZA FB

コラボレーション・特別仕様商品



ASICS X CECILIE BAHNSEN
GEL-KINETIC FR



ASICS X KIKO KOSTADINOV
ILARGI FF II



ASICS X ABOVE THE CLOUDS
GEL-SD-LYTE



ASICS X MITSUI
GEL-LYTE III 07
Remastered



ASICS NOVALIS COLLECTION
Season5



ASICS X LATE NITE STARS
GEL-FLEXKEE PRO 2.0

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

オニツカタイガー（OT）

（単位：億円）

第３四半期（1-9月）	FY25Q3	FY26Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	998	1,344	+346	+34.6%
為替影響除く		1,282	+284	+28.4%
カテゴリー利益	393	530	+137	+34.7%
カテゴリー利益率	39.4%	39.4%	-	+0.0ppt

3ヶ月期間（7-9月）	FY25Q3	FY26Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	340	449	+109	+32.2%
為替影響除く		429	+89	+26.4%
カテゴリー利益	136	174	+38	+27.8%
カテゴリー利益率	40.1%	38.8%	-	△1.3ppt

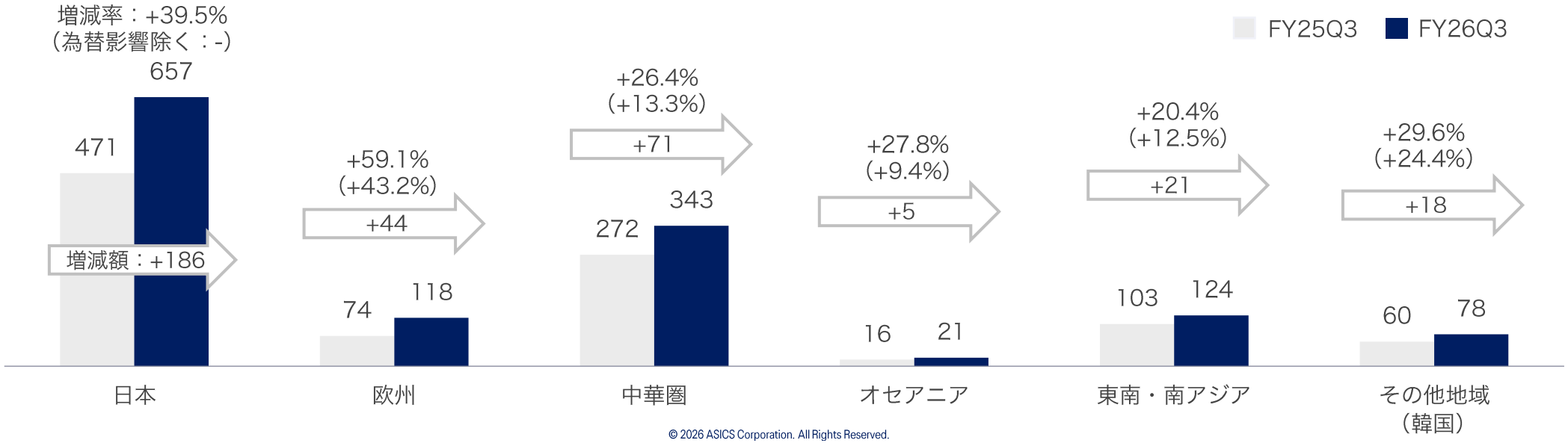


Tai-chi OG

太極拳シューズに着想を得たプレーントゥと薄底のラバーソールがアイコニックなフラットスニーカー.

ポイント

- 売上高は、インバウンド需要が好調な日本を中心に全地域で増収.
- 第３四半期３カ月期間の日本におけるインバウンド売上は前年同期比+37.2%の134億円となり、好調に推移.
- 粗利益率は75.5%（前年同期比+0.6ppt）と、引き続き高水準を維持.
- 9月、ミラノ・ファッションウィークで過去最大規模のショーを開催. Hondaとのコラボを発信し、世界的な注目とブランドプレゼンスを向上.
- ホリデーシーズンに向け、華やかなカラーのボア素材を使用したシューズを発売.



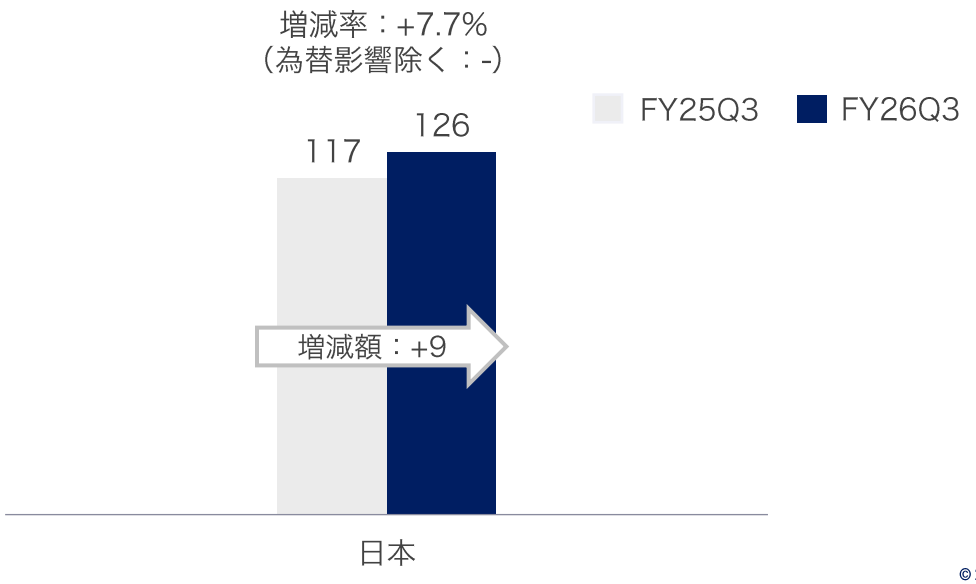
© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

ウォーキング（WK）

（単位：億円）

第３四半期（1-9月）	FY25Q3	FY26Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	117	126	+9	+8.2%
為替影響除く		126	+9	+8.2%
カテゴリー利益	9	20	+11	+108.0%
カテゴリー利益率	8.3%	15.9%	-	+7.6ppt

3ヶ月期間（7-9月）	FY25Q3	FY26Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	39	40	+1	+4.9%
為替影響除く		40	+1	+4.8%
カテゴリー利益	3	5	+2	+48.3%
カテゴリー利益率	9.0%	12.8%	-	+3.8ppt





MOON AMBLE

軽量でバウンス感のある履き心地により、歩くことが楽しくなる
ウォーキングシューズ

ポイント

- 売上高は、直営店やEC販売が好調に推移し、前年同期比＋8.2%の増収.
- 第３四半期３カ月期間は、引き続き直営店のインバウンド売上が好調に推移.
- 粗利益率は、販売価格の適正化等により54.9%（前年同期比＋2.1ppt）.
- 増収、粗利益率の改善もあり、カテゴリー利益は増益.
- グローバル展開に向けて中国でEC販売を開始し、香港で海外初となる直営店の出店を予定.



© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

INDEX

1. 決算サマリー等

2. 連結業績の概要

3. カテゴリー別連結経営成績

4. 地域別連結経営成績

5. 連結財政状態

6. IRカレンダー

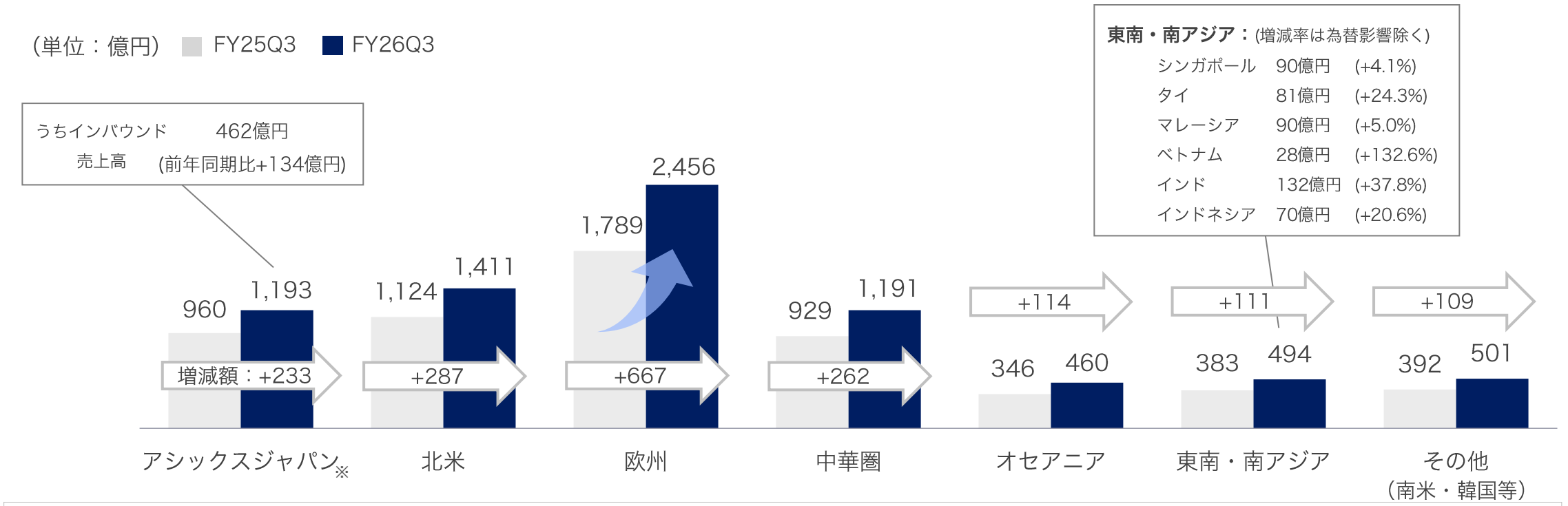
Appendix

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

地域別売上高

- 北米は、SPS（+62.4%）が大きく伸長し、前年同期比+17.0%の成長.
- 欧州は、SPS（+60.7%）及びOT（+43.2%）が牽引し、前年同期比+24.2%と大幅成長.
- 中華圏は、主にRT及びECでの売上が好調に推移し、前年同期比+15.1%と成長を継続.
- 東南・南アジアは、主にECで売上が伸長し、前年同期比+22.5%と大幅成長.

※ 地域別連結経営成績におけるコメント内の増減率は全て為替影響を除く.



	アシックスジャパン※	北米	欧州	中華圏	オセアニア	東南・南アジア	その他（南米・韓国等）
増減率	+24.2%	+25.5%	+37.3%	+28.2%	+32.9%	+29.1%	+27.7%
為替影響を除く	-	+17.0%	+24.2%	+15.1%	+13.8%	+22.5%	+14.5%

※ 決算短信における日本地域の売上は、前期1,520億円、当期1,568億円です. 当説明資料においては、他の地域との比較可能性を考え、主要５カテゴリーを販売するアシックスジャパンとしております.

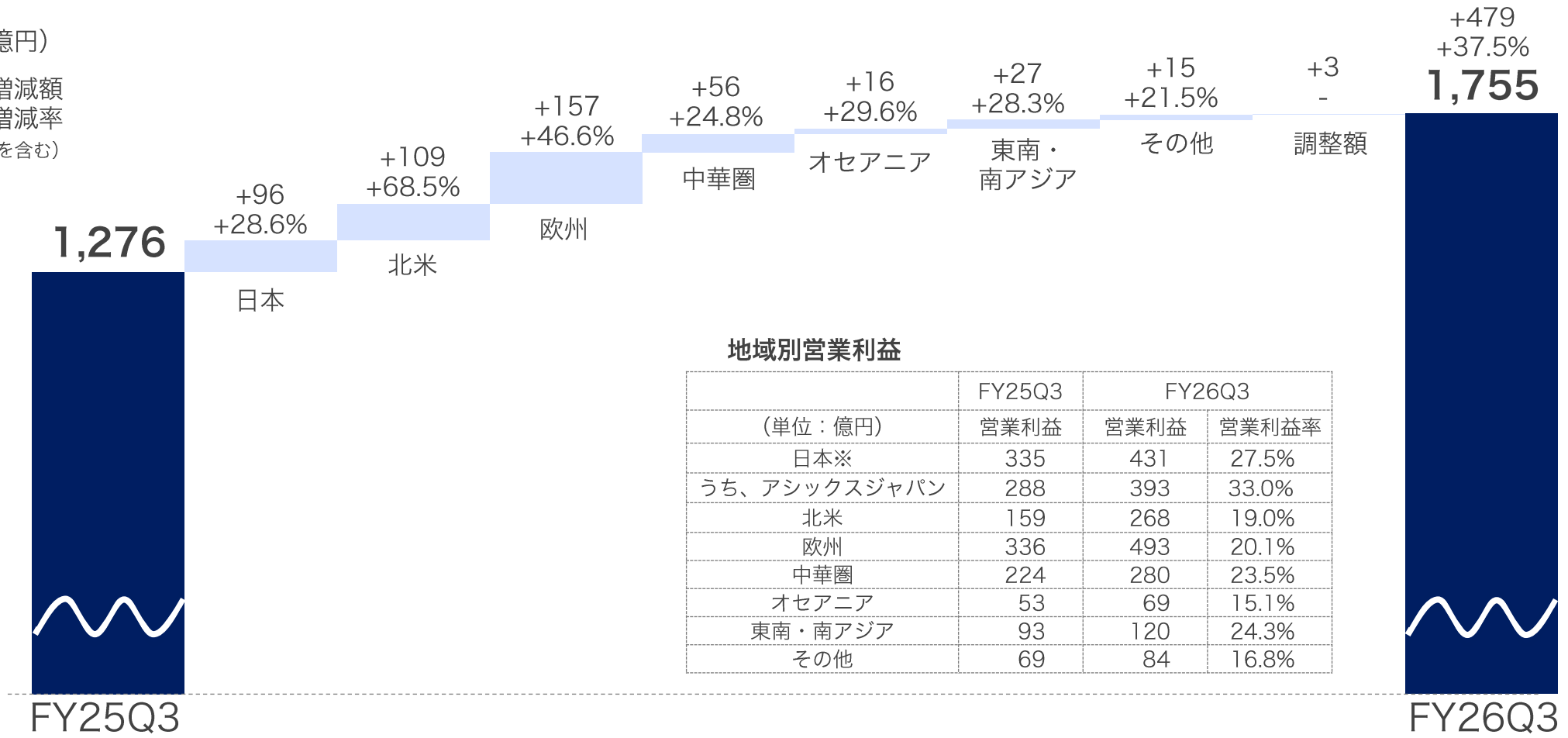
© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結営業利益内訳（地域別）

- アシックスジャパンは、OTの大幅増収に伴い営業利益率33.0%（前年同期比+3.0ppt）と大幅に向上.
- 北米は、SPSの大幅増収に伴い営業利益率19.0%（前年同期比+4.8ppt）と大幅に向上.
- 欧州は、PRUN及びSPS、OTの増収に加え販管費率が良化したことにより、営業利益率20.1%(前年同期比+1.3ppt）.

（単位：億円）

上段：増減額
下段：増減率
（為替影響を含む）



地域別営業利益

	FY25Q3	FY26Q3	
（単位：億円）	営業利益	営業利益	営業利益率
日本※	335	431	27.5%
うち、アシックスジャパン	288	393	33.0%
北米	159	268	19.0%
欧州	336	493	20.1%
中華圏	224	280	23.5%
オセアニア	53	69	15.1%
東南・南アジア	93	120	24.3%
その他	69	84	16.8%

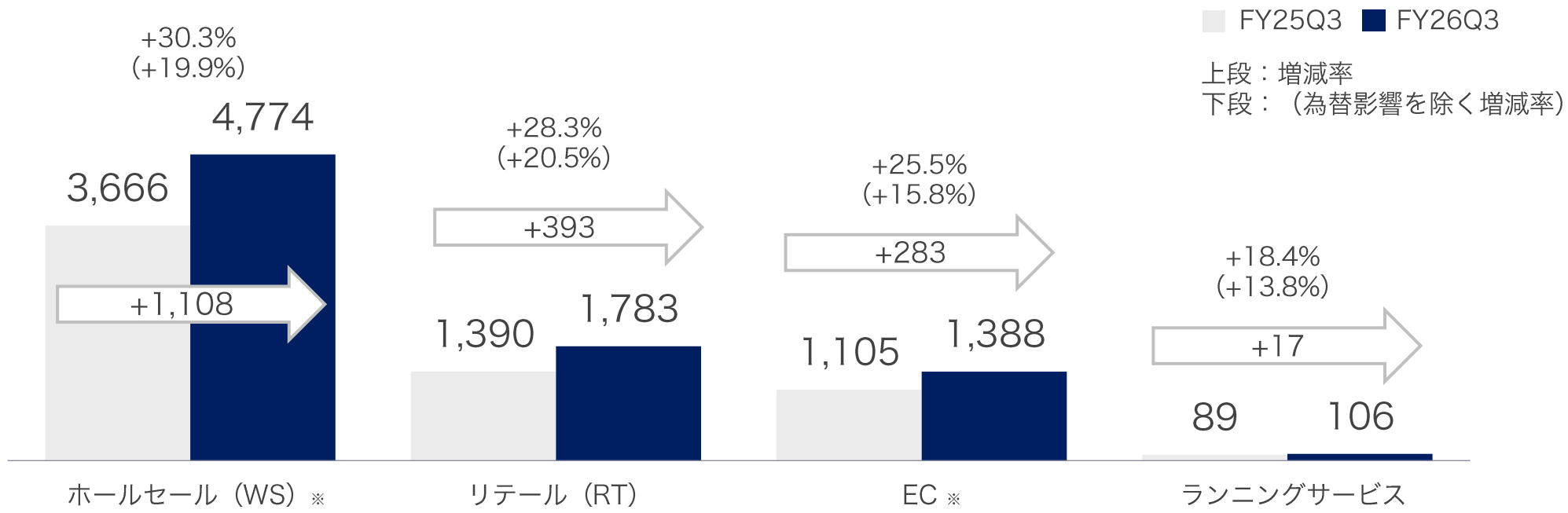
※ 日本地域には、アシックスジャパンの他、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます.

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

チャネル別売上高

- WSは、北米、欧州、東南・南アジア等の増収により前年同期比+19.9% (北米+29.6%、欧州+29.7%、東南・南アジア+22.1%).
- RTは、アシックスジャパン、中華圏等の増収により前年同期比+20.5%（アシックスジャパン +35.9%、中華圏 +19.0%）.
- ECは、戦略的な絞り込みを実施した北米を除く全地域で増収し前年同期比+15.8%. 北米を除くと+23.9%の成長.

（単位：億円）



チャネル別売上高構成							
58.7%	**59.3%**	22.2%	**22.2%**	17.7%	**17.2%**	1.4%	**1.3%**

※ 自社ECサイトとマーケットプレイスはECに含み、ホールセールEリテーラーはホールセールに含んでおります.

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

INDEX

1. 決算サマリー等

2. 連結業績の概要

3. カテゴリー別連結経営成績

4. 地域別連結経営成績

5. 連結財政状態

6. IRカレンダー

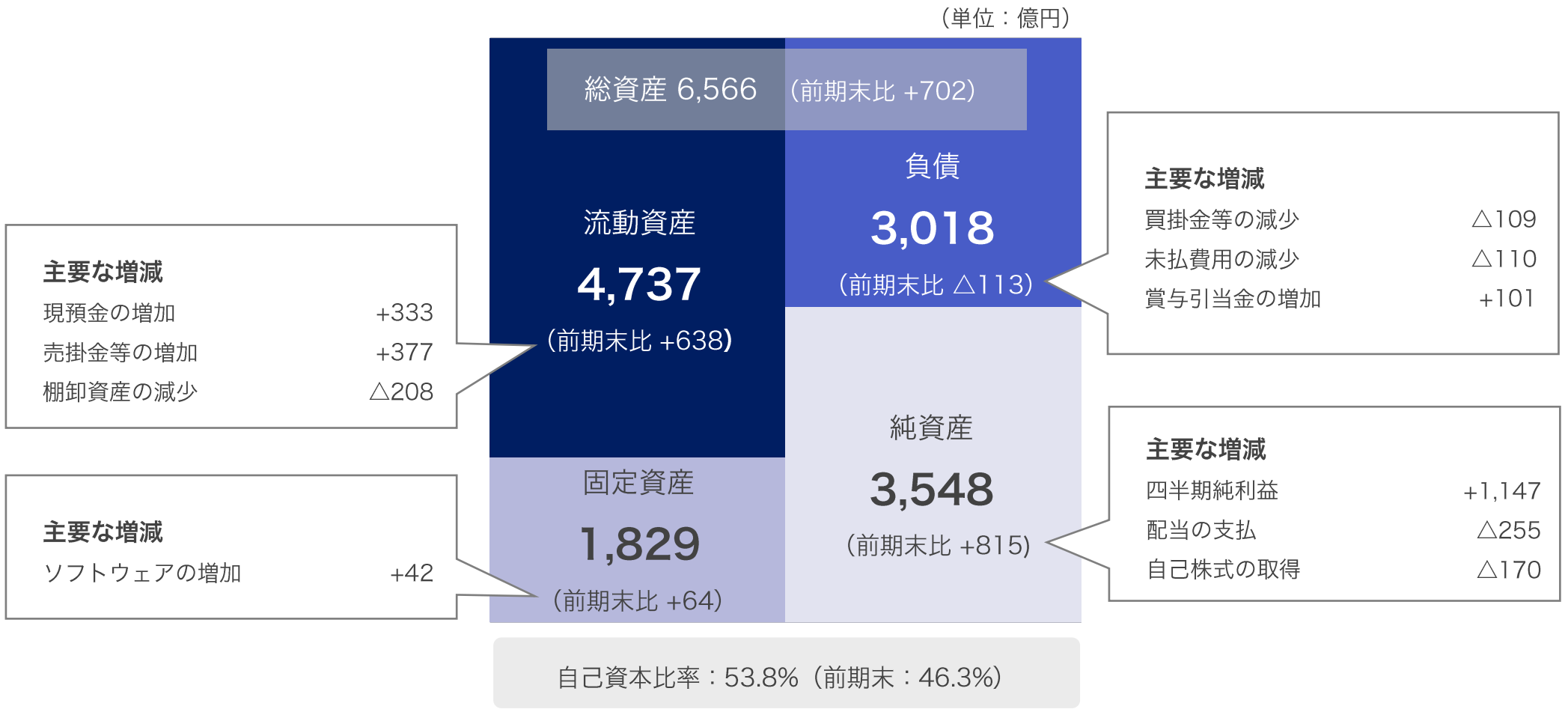
Appendix

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結貸借対照表

- 増収に伴い売掛金等が増加．一方、増益に加え、継続的な在庫管理強化による棚卸資産の消化がキャッシュ創出に寄与し、現預金が増加．
- 順調な純利益の積上げを背景に、自己資本比率は53.8%へ向上．9月に700億円を上限とする自己株式の取得を公表．

（単位：億円）

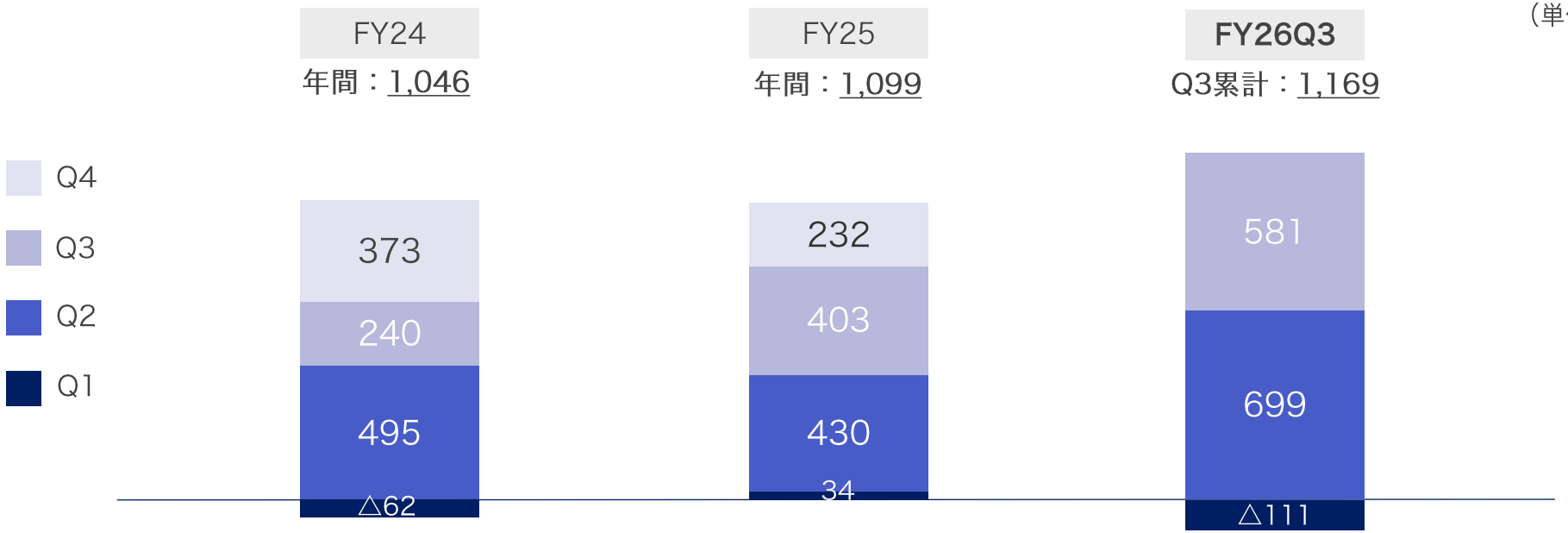


© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

連結営業キャッシュ・フロー

- 連結営業キャッシュ・フローは、好調な業績を受け第３四半期累計で過去最高となる1,169億円（前年同期比+302億円）を創出.
- 引き続き利益成長に加え、CCC最適化による運転資本の効率化を進め、更なるキャッシュ創出力の向上を図る.

（単位：億円）



（単位：日数）

■連結CCC

	FY25Q3	FY25Q4	**FY26Q3**	前年同期比	前期末比
DSO（売掛債権回転期間）	45	45	**45**	-	-
DIO（棚卸資産回転期間）	147	152	**148**	1日悪化	4日良化
DPO（買掛債務回転期間）	65	65	**61**	4日悪化	4日悪化
CCC	127	132	**132**	5日悪化	-
参考：現預金残高	1,239億円	1,122億円	**1,455億円**	+216億円	+333億円

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

カテゴリー別／主要地域別DIO及び棚卸資産

- 連結DIOは148日（前年同期比＋1日）．主に、インバウンド需要が好調なアシックスジャパンでOT商品の在庫構成比が上昇したが、前年同期並を維持.

■連結DIO（単位：億円）		FY25Q3	FY25Q4	FY26Q3	前年同期比	前期末比
連結	DIO	147日	152日	148日	+1日	△4日
	棚卸資産	1,383	1,789	1,581	+198	△208
	うち洋上在庫	298	463	327	+29	△136

■カテゴリー別（単位：億円）※		FY25Q3	FY25Q4	FY26Q3	前年同期比	前期末比
P.RUN	DIO	94日	96日	102日	+8日	+6日
	棚卸資産	459	615	527	+68	△88
CPS	DIO	87日	88日	91日	+4日	+3日
	棚卸資産	103	150	127	+24	△23
AP	DIO	153日	161日	161日	+8日	-
	棚卸資産	92	96	110	+18	+14
SPS	DIO	81日	83日	76日	△5日	△7日
	棚卸資産	178	222	245	+67	+23
OT	DIO	206日	210日	213日	+7日	+3日
	棚卸資産	224	247	284	+60	+37

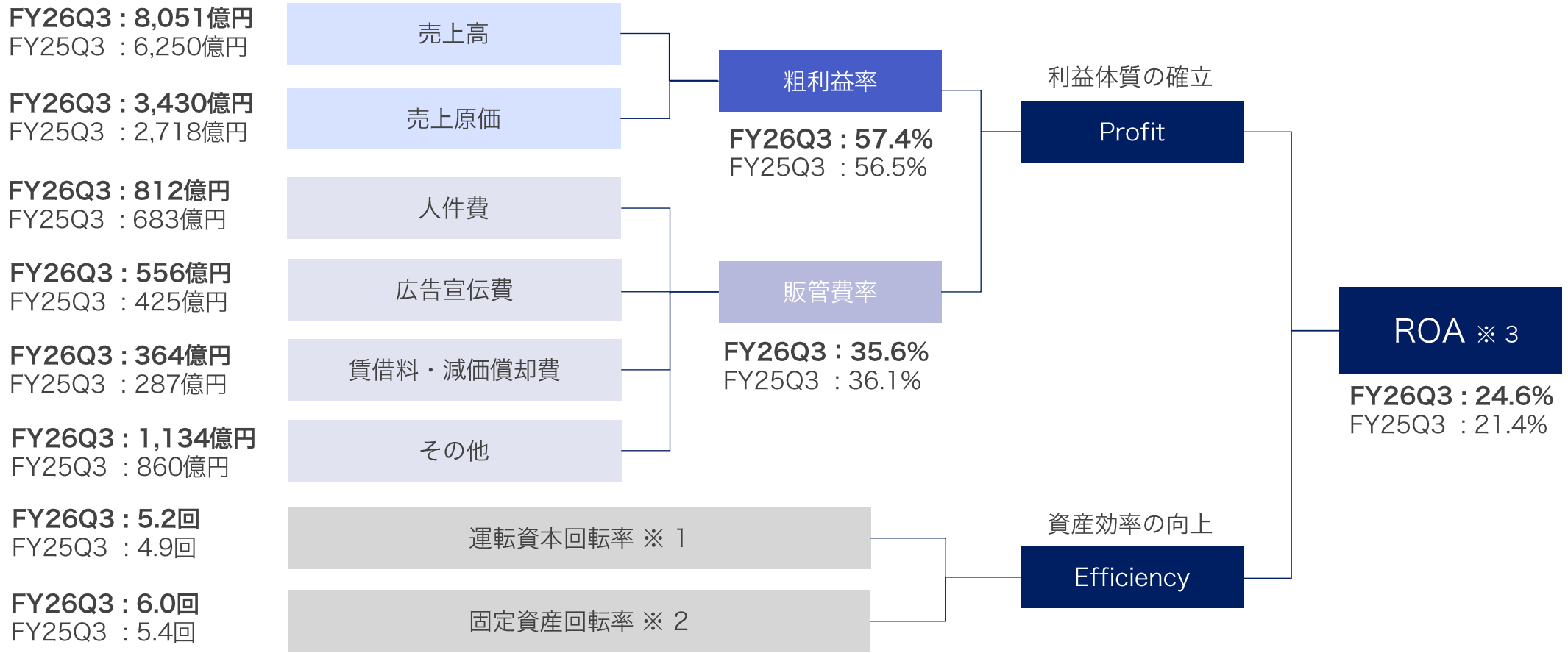
※ カテゴリー別棚卸資産残高には洋上在庫を含めておりません.

■主要地域別（単位：現地通貨）		FY25Q3	FY25Q4	FY26Q3	前年同期比	前期末比
アシックスジャパン（億円）	DIO	134日	139日	154日	+20日	+15日
	棚卸資産	161	222	209	+48	△13
米国（M USD）	DIO	106日	114日	106日	-	△8日
	棚卸資産	144	187	129	△15	△58
欧州（M EUR）	DIO	140日	146日	143日	+3日	△3日
	棚卸資産	215	286	251	+36	△35
中国（M RMB）	DIO	172日	170日	154日	△18日	△16日
	棚卸資産	955	977	925	△30	△52

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

ROAツリー分解

- 販売価格の適正化等による粗利益率の改善に加え、増収及びコスト最適化により販管費率も低下.
- 増収に伴い、運転資本回転率・固定資産回転率はともに上昇し、資産効率が向上.
- この結果、ROAは前年同期比+3.2pptの24.6%へ良化.



※1 運転資本回転率 ＝ $\frac{\text{2026年12月期第3四半期 売上高}}{\text{（2025年12月期期末運転資本 + 2026年12月期第3四半期末運転資本）÷2}} \times \frac{4}{3}$

※2 固定資産回転率 ＝ $\frac{\text{2026年12月期第3四半期 売上高}}{\text{（2025年12月期期末固定資産 + 2026年12月期第3四半期末固定資産）÷2}} \times \frac{4}{3}$

※3 ROA ＝ $\frac{\text{2026年12月期第3四半期 当期純利益}}{\text{（2025年12月期期末総資産 + 2026年12月期第3四半期末総資産）÷2}} \times \frac{4}{3}$

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

INDEX

1. 決算サマリー等

2. 連結業績の概要

3. カテゴリー別連結経営成績

4. 地域別連結経営成績

5. 連結財政状態

6. IRカレンダー

Appendix

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年度　IRカレンダー（予定）

	イベント		
2026	11月17日(火)	16:00 – 17:30	インベストメントデイ（テーマ：VISION・中期経営計画2029）
	11月29日(日)	13:30 – 16:00	個人投資家向け体験型IR説明会 @名古屋
	12月12日(土)	13:00 – 15:30	個人投資家向け体験型IR説明会 @広島
2027	2月12日(金)	13:00開示	2026年12月期 決算発表
	2月12日(金)	14:00 – 15:00	2026年12月期 決算説明会（報道機関向け）
	2月13日(土)	13:30 – 16:00	個人投資家向け体験型IR説明会 @東京
	2月15日(月)	14:00 – 15:00	2026年12月期 決算説明会（機関投資家、アナリスト、報道機関向け）
	3月13日(土)	時間未定	個人投資家向け体験型IR説明会 @那覇
	3月26日(金)	10:00開始	2026年度定時株主総会 @東京

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

INDEX

1. 決算サマリー等

2. 連結業績の概要

3. カテゴリー別連結経営成績

4. 地域別連結経営成績

5. 連結財政状態

6. IRカレンダー

Appendix

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

環境・社会に関する取組み

環境

リサイクルできるランニングシューズの最新モデル「NIMBUS MIRAI 2」を発売

使用後の素材回収や再利用まで見据えて設計した「NIMBUS MIRAI」（2024年発売）の後継モデルを2026年10月に発売. 使用後の前モデルを回収し、リサイクルした素材を一部に採用. 前モデル比で温室効果ガス排出量を約20%削減し、商品全体の約30%に植物由来材を活用しつつ、約37gの軽量化も実現.



NIMBUS MIRAI 2

社会

世界メンタルヘルスデーにむけて「The Movement Conservation Project」を公開

31カ国・地域、約3万4,000人を対象とした調査結果をもとに、日常生活で15分程度身体を動かす価値を発信. 人々が起きている時間の86%を身体を動かさずに過ごしている※実態を踏まえ、運動を通じた心身の健康増進の重要性を提起.

※自己申告による1日の運動量にもとづく. 起きている時間を16時間として算出.



The Movement Conservation Project

「アシックス健康白書2026」を公開・健康経営優良法人2026「ホワイト500」に選定

2025年度は健康管理・増進体制の拡充や生活習慣改善支援、メンタルヘルス対応強化などを推進し、ヘルスリテラシー向上と従業員のパフォーマンス向上を確認. 「健康経営優良法人2026」において、上位500法人に与えられる「ホワイト500」に選定.



アシックス健康白書2026
こちらからご覧いただけます



© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

外部評価

「ディスクロージャー優良企業」に2年連続で選定

日本証券アナリスト協会による2026年度「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において、小売業部門第１位に選定．特に、「経営トップがIR活動を重視し、投資家からの声を経営・情報開示に反映する姿勢」「幅広いステークホルダーへの情報開示の充実と、継続的なIR活動の進化」「解像度の高い情報開示や適時開示」「リモートツール等による迅速な情報提供と、外国人投資家向けの開示の充実」「独自のIRイベントの積極的な実施」などが評価された．



独自の競争戦略が評価され「ポーター賞」を初受賞

一橋大学ビジネススクールが運営する、優れた戦略と高い収益性を評価する「ポーター賞」を初受賞．身体の動きを科学的に分析する「ヒューマンセントリックサイエンス」や製品設計力、各カテゴリーが生産から販売まで責任を持つ「カテゴリー経営体制」、グローバルな経営情報システム、会員基盤を活用した顧客接点の強化などが評価された．さらに、利益・資本効率を重視した経営改革や、高付加価値製品への注力による高い収益性も評価のポイントとなった．



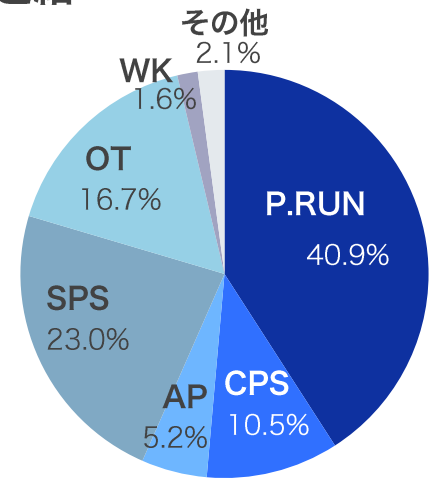
© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

カテゴリー別地域別売上高構成（2026年12月期 第３四半期）

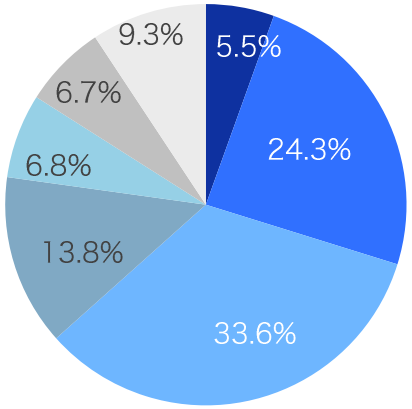
*カテゴリー毎の地域別割合

■アシックスジャパン ■北米 ■欧州 ■中華圏 ■オセアニア ■東南・南アジア ■その他

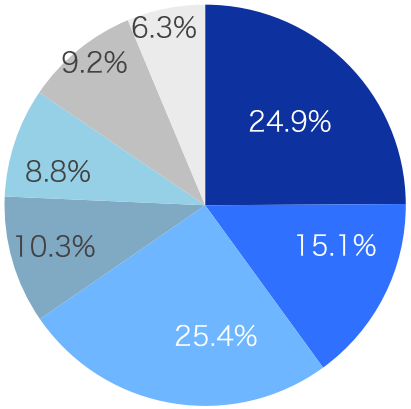
連結



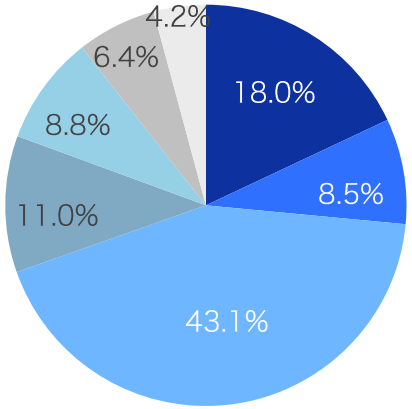
P.RUN



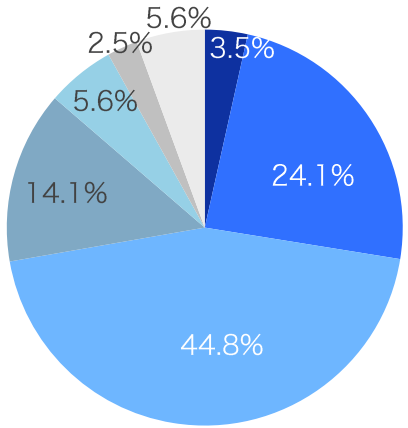
CPS



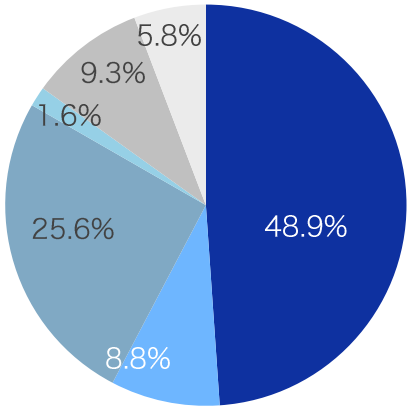
AP



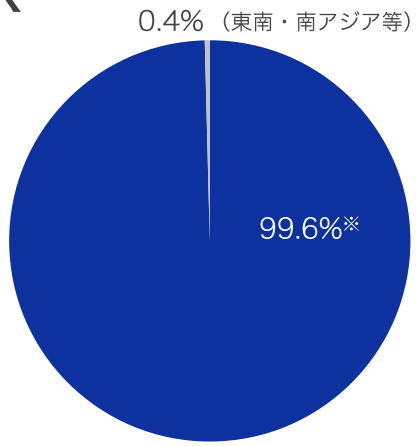
SPS



OT



WK



※WKにおいては日本地域の売上にて算出

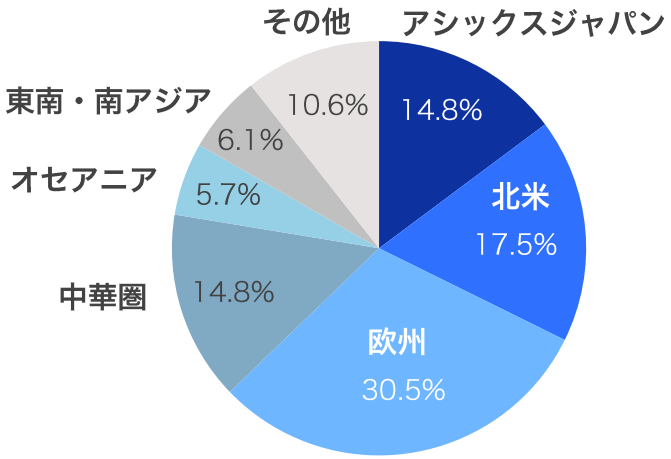
© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

主要地域別カテゴリー別売上高構成（2026年12月期 第３四半期）

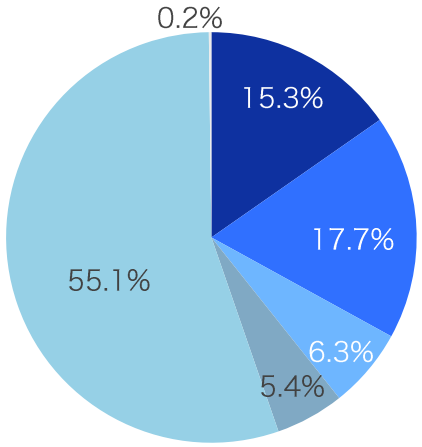
*地域毎のカテゴリー別割合

■P.RUN ■CPS ■AP ■SPS ■OT ■その他

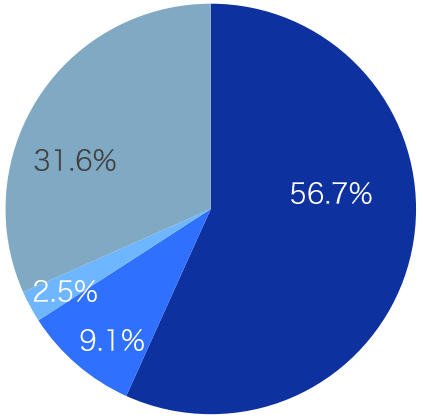
連結



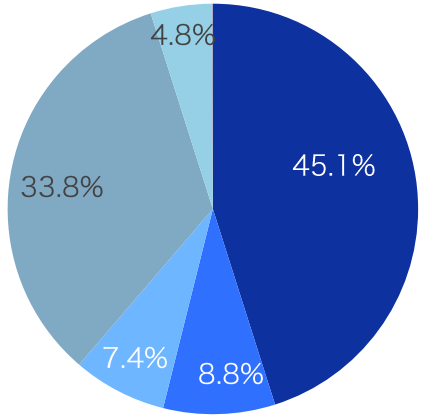
アシックスジャパン



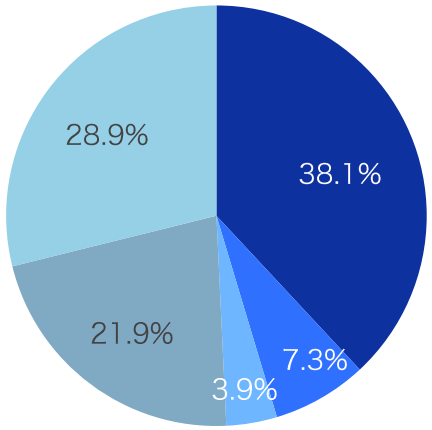
北米



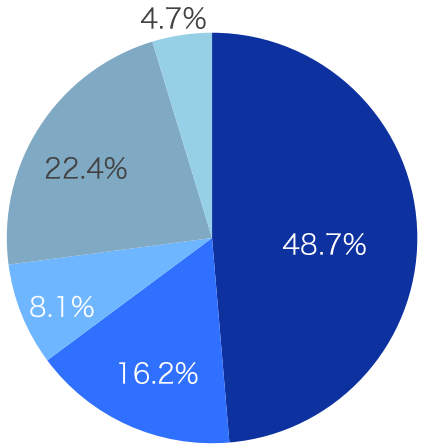
欧州



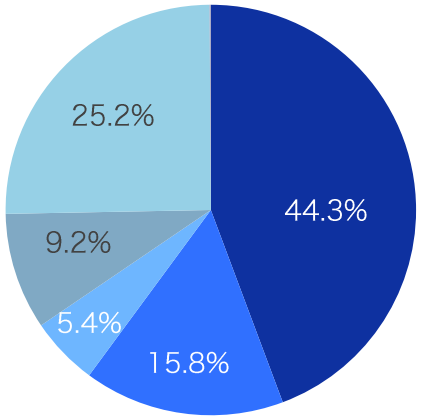
中華圏



オセアニア



東南・南アジア



© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年12月期第３四半期 地域別実績

（単位：億円）

日本	FY25 (1-9月)	FY26 (1-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	1,520	**1,568**	+48	+3.1%
為替影響除く		**1,568**	+48	+3.1%
営業利益	335	**431**	+96	+28.6%
営業利益率	22.1%	**27.5%**	-	+5.4ppt

アシックスジャパン（日本地域の内数）	FY25 (1-9月)	FY26 (1-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	960	**1,193**	+233	+24.2%
為替影響除く		**1,193**	+233	+24.2%
営業利益	288	**393**	+105	+36.5%
営業利益率	30.0%	**33.0%**	-	+3.0ppt

北米	FY25 (1-9月)	FY26 (1-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	1,124	**1,411**	+287	+25.5%
為替影響除く		**1,316**	+192	+17.0%
営業利益	159	**268**	+109	+68.5%
営業利益率	14.2%	**19.0%**	-	+4.8ppt

欧州	FY25 (1-9月)	FY26 (1-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	1,789	**2,456**	+667	+37.3%
為替影響除く		**2,222**	+433	+24.2%
営業利益	336	**493**	+157	+46.6%
営業利益率	18.8%	**20.1%**	-	+1.3ppt

中華圏	FY25 (1-9月)	FY26 (1-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	929	**1,191**	+262	+28.2%
為替影響除く		**1,070**	+141	+15.1%
営業利益	224	**280**	+56	+24.8%
営業利益率	24.1%	**23.5%**	-	△0.6ppt

オセアニア	FY25 (1-9月)	FY26 (1-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	346	**460**	+114	+32.9%
為替影響除く		**394**	+48	+13.8%
営業利益	53	**69**	+16	+29.6%
営業利益率	15.5%	**15.1%**	-	△0.4ppt

東南・南アジア	FY25 (1-9月)	FY26 (1-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	383	**494**	+111	+29.1%
為替影響除く		**469**	+86	+22.5%
営業利益	93	**120**	+27	+28.3%
営業利益率	24.4%	**24.3%**	-	△0.1ppt

その他地域	FY25 (1-9月)	FY26 (1-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	392	**501**	+109	+27.7%
為替影響除く		**449**	+57	+14.5%
営業利益	69	**84**	+15	+21.5%
営業利益率	17.7%	**16.8%**	-	△0.9ppt

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年12月期第３四半期（3ヶ月期間）地域別実績

（単位：億円）

日本	FY25 (7-9月)	FY26 (7-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	528	**508**	△20	△3.9%
為替影響除く		**508**	△20	△3.9%
営業利益	119	**146**	+27	+22.1%
営業利益率	22.5%	**28.6%**	-	+6.1ppt

中華圏	FY25 (7-9月)	FY26 (7-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	309	**381**	+72	+23.2%
為替影響除く		**341**	+32	+10.1%
営業利益	75	**83**	+8	+10.3%
営業利益率	24.1%	**21.6%**	-	△2.5ppt

アシックスジャパン（日本地域の内数）	FY25 (7-9月)	FY26 (7-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	349	**437**	+88	+24.8%
為替影響除く		**437**	+88	+24.8%
営業利益	105	**141**	+36	+34.3%
営業利益率	29.9%	**32.2%**	-	+2.3ppt

オセアニア	FY25 (7-9月)	FY26 (7-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	132	**171**	+39	+29.4%
為替影響除く		**147**	+15	+11.4%
営業利益	20	**31**	+11	+55.6%
営業利益率	15.2%	**18.2%**	-	+3.0ppt

北米	FY25 (7-9月)	FY26 (7-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	385	**465**	+80	+20.5%
為替影響除く		**433**	+48	+12.1%
営業利益	57	**78**	+21	+36.9%
営業利益率	14.7%	**16.7%**	-	+2.0ppt

東南・南アジア	FY25 (7-9月)	FY26 (7-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	148	**180**	+32	+21.4%
為替影響除く		**174**	+26	+17.2%
営業利益	39	**44**	+5	+11.6%
営業利益率	26.5%	**24.4%**	-	△2.1ppt

欧州	FY25 (7-9月)	FY26 (7-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	652	**790**	+138	+21.3%
為替影響除く		**747**	+95	+14.6%
営業利益	124	**147**	+23	+18.4%
営業利益率	19.1%	**18.6%**	-	△0.5ppt

その他地域	FY25 (7-9月)	FY26 (7-9月)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	146	**179**	+33	+22.7%
為替影響除く		**159**	+13	+9.3%
営業利益	26	**28**	+2	+7.1%
営業利益率	17.7%	**15.4%**	-	△2.3ppt

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年度 通期業績予想：カテゴリー別

（単位：億円）		FY25 実績	FY26 予想	増減率	為替影響を除く 増減率
P.RUN	売上高	3,635	4,270	+17.5%	+10.0%
	カテゴリー利益	860	1,070	+24.4%	+18.1%
	カテゴリー利益率	23.7%	25.1%	+1.4ppt	-
CPS	売上高	860	1,050	+22.1%	+16.1%
	カテゴリー利益	167	220	+31.2%	+25.4%
	カテゴリー利益率	19.5%	21.0%	+1.5ppt	-
AP	売上高	420	530	+26.0%	+19.0%
	カテゴリー利益	59	85	+43.1%	+33.7%
	カテゴリー利益率	14.1%	16.0%	+1.9ppt	-
SPS	売上高	1,413	2,420	+71.2%	+60.9%
	カテゴリー利益	413	760	+83.8%	+74.3%
	カテゴリー利益率	29.3%	31.4%	+2.1ppt	-
OT	売上高	1,365	1,800	+31.8%	+27.9%
	カテゴリー利益	514	630	+22.4%	+19.9%
	カテゴリー利益率	37.7%	35.0%	△2.7ppt	-
WK	売上高	164	158	△3.9%	△4.0%
	カテゴリー利益	18	23	+26.0%	+25.7%
	カテゴリー利益率	11.1%	14.6%	+3.5ppt	-

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

2026年度 通期業績予想：地域別

（単位：億円）		FY25 実績	FY26 予想	増減率	為替影響を除く 増減率
日本 地域 ※	売上高	2,042	2,000	△2.1%	△2.1%
	営業利益	447	520	+16.2%	+16.2%
	営業利益率	21.9%	26.0%	+4.1ppt	-
うち、アシックスジャパン	売上高	1,272	1,580	+24.1%	+24.1%
	営業利益	381	500	+31.0%	+31.0%
	営業利益率	30.0%	31.6%	+1.6ppt	-
北米 地域	売上高	1,411	1,820	+28.9%	+20.7%
	営業利益	160	270	+68.6%	+58.7%
	営業利益率	11.3%	14.8%	+3.5ppt	-
欧州 地域	売上高	2,258	3,140	+39.1%	+31.3%
	営業利益	367	580	+57.8%	+48.8%
	営業利益率	16.3%	18.5%	+2.2ppt	-
中華圏 地域	売上高	1,205	1,540	+27.8%	+17.5%
	営業利益	250	330	+31.5%	+21.7%
	営業利益率	20.8%	21.4%	+0.6ppt	-
オセアニア 地域	売上高	496	640	+28.9%	+13.2%
	営業利益	79	110	+38.8%	+21.4%
	営業利益率	16.0%	17.2%	+1.2ppt	-
東南・南アジア 地域	売上高	497	660	+32.6%	+28.1%
	営業利益	109	145	+32.5%	+28.4%
	営業利益率	22.0%	22.0%	±0.0ppt	-

※ 日本地域には、他の地域にはない主要5カテゴリー以外を販売する会社も含まれております．他の地域との比較可能性を考え、アシックスジャパンを日本地域の内訳として記載しております．
なお、日本地域には、アシックスジャパン、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます．

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

株価及び指標の推移

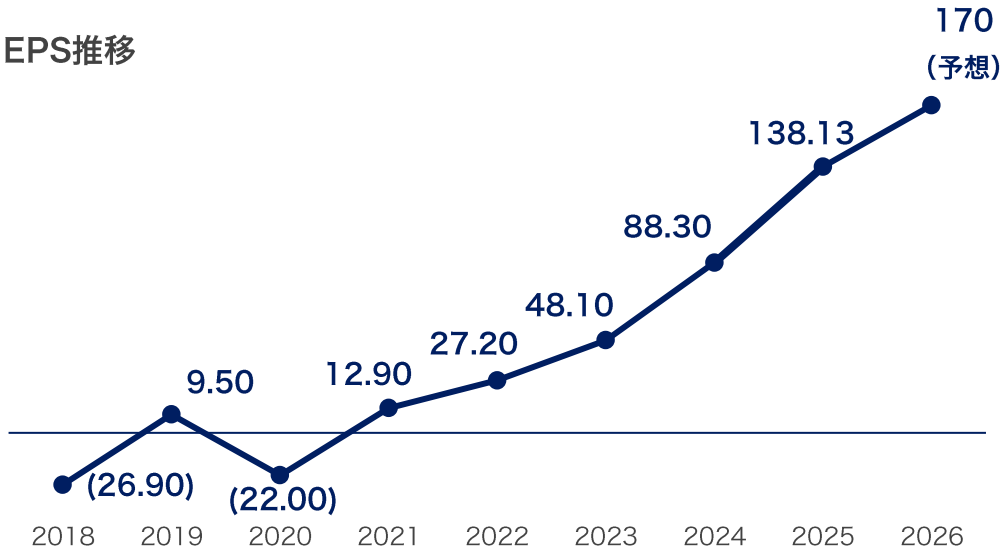
■株価推移 2018年初 – 2026年10月30日



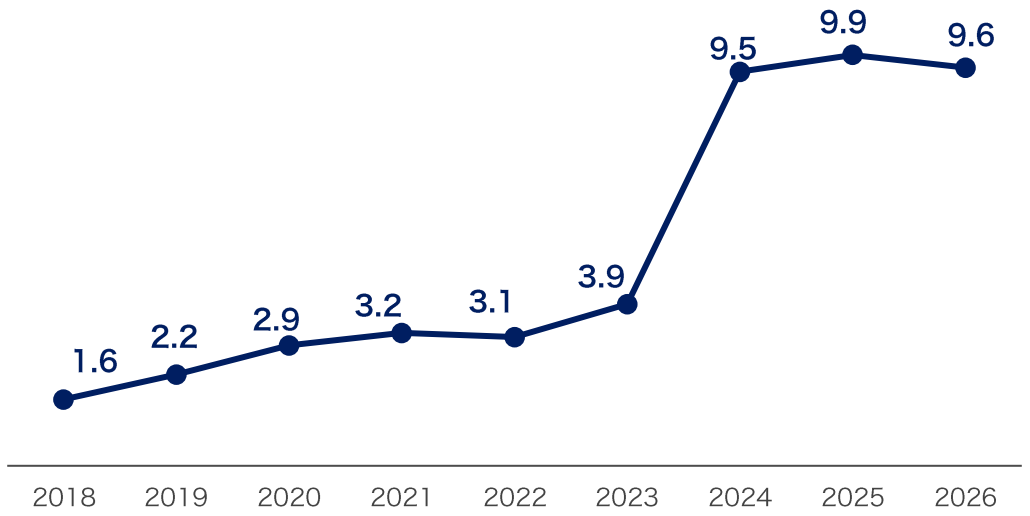
※2018年初を100として標準化

出所：ブルームバーグ

■ EPS推移



■ PBR推移



※ 10月30日時点

出所：ブルームバーグ

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

sound mind, sound body

DISCLAIMER　将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。
ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

© 2026 ASICS Corporation. All Rights Reserved.